

矢板市国民健康保険
データヘルス計画（第2期）
中間評価

令和3年3月
矢板市

第1章	データヘルス計画中間評価にあたって	
	中間評価の趣旨	4
第2章	現状と課題把握	
	1. 矢板市の特性把握	5
	(1) 基本情報	5
	(2) 医療費等の状況	7
	(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況	8
	① 特定健康診査	8
	② 特定保健指導	9
	(4) 介護保険の状況	10
	(5) 主たる死因の状況	12
	2. 今までの取り組みの考察	13
	(1) 第2期データヘルス計画の各事業達成状況	13
	3. 医療情報分析結果	15
	(1) 基礎統計	15
	(2) 高額レセプトの件数及び医療費	16
	① 高額レセプトの件数及び割合	16
	② 高額レセプト発生患者の疾病傾向	17
	(3) 疾病別医療費	19
	① 大分類による疾病別医療費統計	19
	② 中分類による疾病別医療費統計	21
	(4) 生活習慣病に係る医療費	28
	4. 保健事業実施に係る分析結果	30
	(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析	30
	(2) 特定健康診査に係る分析	31
	(3) 特定保健指導に係る分析	33
	(4) 健診異常値放置者に係る分析	35
	(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析	36
	(6) 糖尿病重症化予防に係る分析	37
	(7) 受診行動適正化に係る分析	39
	(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析	40
	5. 分析結果のまとめ	41
	(1) 分析結果	41
	(2) 分析結果に基づく健康課題	43
第3章	目標及び保健事業の実施計画	
	1. 目的・目標	44
	2. 各事業の目的と概要一覧	45
第4章	計画の運用について	
	1. 実施体制・関係者連携	47
	2. 評価の時期	47
	3. 計画の公表	47
	4. 個人情報の保護	47

-目次-

巻末資料		
	1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	48
	2. 用語解説集	49
	3. 疾病分類表(2013年版)	50

第1章 データヘルス計画中間評価にあたって

中間評価の趣旨

「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)や厚生労働省が定めた「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」に基づき、健康保持と医療費の抑制を目的に平成30年度から令和5年度までの6年間を計画期間とする「矢板市国民健康保険データヘルス計画(第2期)」を定めています。

令和5年度の目標達成に向け、本計画の中間時点にあたる今年度は、中間評価を実施します。効果的かつ効率的に保健事業を推進するために、これまでの取り組みを振り返り、分析・評価を行います。

第2章 現状と課題把握

1. 矢板市の特性把握

(1) 基本情報

以下は、本市の令和元年度における、人口構成概要を示したものです。高齢化率(65歳以上)は32.4%であり、県との比較で1.1倍となっています。また、国民健康保険被保険者数は7,905人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は25.0%です。国民健康保険被保険者平均年齢は55.8歳です。

人口構成概要（令和元年度）

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険 者数(人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率 (人口千対)	死亡率 (人口千対)
矢板市	31,617	32.4%	7,905	25.0%	55.8	5.2%	11.7%
県	1,942,313	28.3%	525,708	27.1%	51.6	7.0%	11.4%
国	126,167,000	28.4%	29,893,491	23.7%	51.6	7.4%	11.0%

※「県」は栃木県を指す。以下すべての表において同様である。

出典：

- ・人口総数

出典：栃木県「とちぎの統計情報」栃木県毎月人口推計月報
総務省統計局HP「e-Stat」各月1日現在人口
※国勢調査結果をもとに人口の増減を推計。(10月1日現在人口を使用)
国の確定値は千人以下は公表されていない。

- ・高齢化率(65歳以上)

出典：栃木県「とちぎの統計情報」栃木県年齢別人口調査結果(市町別年齢別人口)
総務省統計局HP「e-Stat」年齢(各歳)、男女別人口

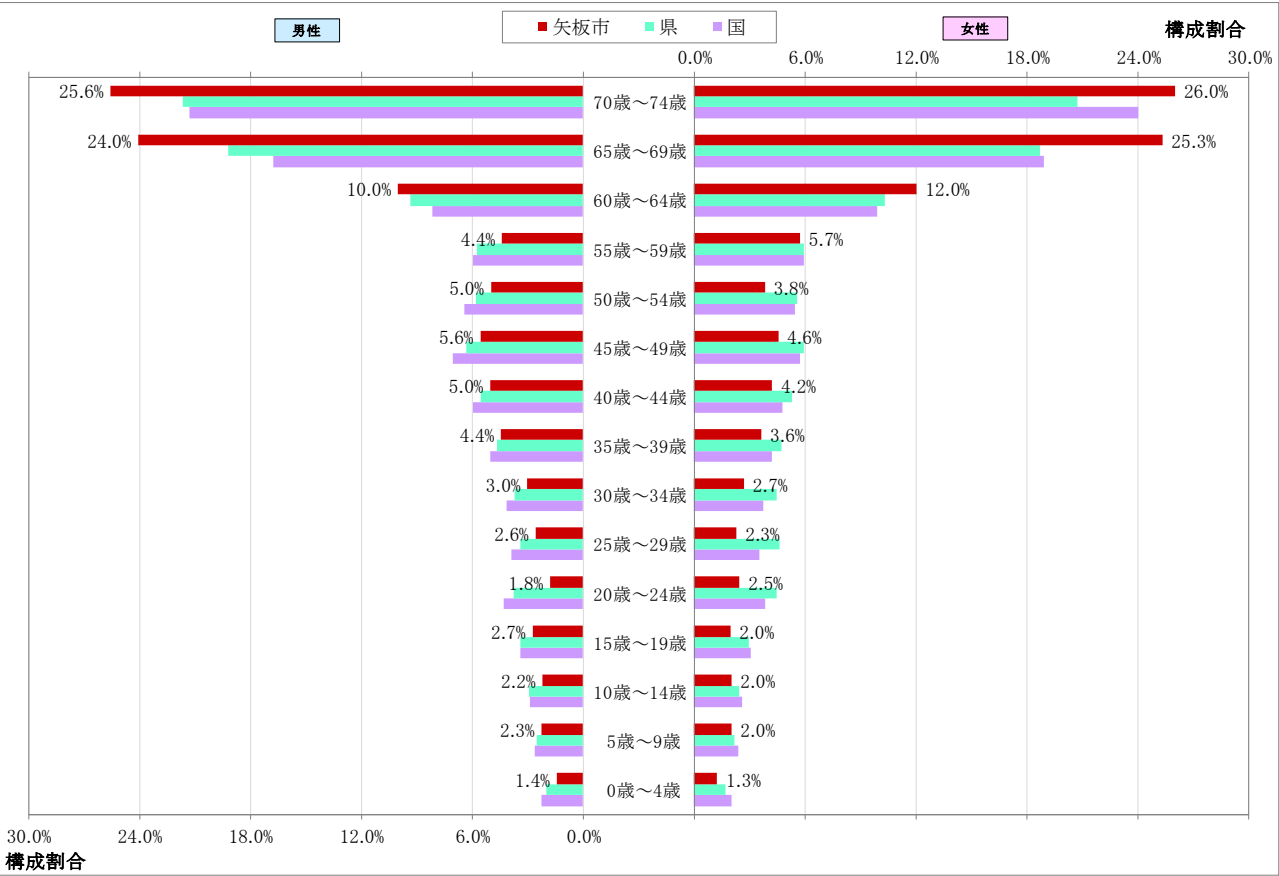
- ・国保被保険者数・国保加入率・国保被保険者平均年齢(歳)

出典：国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

- ・出生率・死亡率

出典：「矢板市統計書」[3]人口 21出生率・死亡率
「栃木県保健統計年報(平成30年度版)人口動態統計編」栃木県人口動態統計(概数)の概況
※人口1000人に対する1年間の出生数・死亡数の比率のこと。

男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(令和元年度)



出典:国保データベース (KDB) システム「人口及び被保険者の状況」

(2) 医療費等の状況

以下は、本市の令和元年度における、医療基礎情報を示したものです。

県・国と比較して、本市では、千人当たりの病院数、病床数が多くなっています。また、一件当たりの医療費が県や国より高くなっています。

医療基礎情報(令和元年度)

	矢板市	県	国
千人当たり			
病院数	0.4	0.2	0.3
診療所数	2.4	2.7	3.4
病床数	84.3	40.1	52.0
医師数	8.7	8.6	10.7
外来患者数	667.2	679.6	682.3
入院患者数	21.0	16.8	18.7
受診率	688.2	696.4	701.0
一件当たり医療費(円)	40,070	34,820	37,230
一般(円)	40,090	34,820	37,230
退職(円)	30,740	35,030	36,040
外来			
外来費用の割合	59.2%	61.5%	59.4%
外来受診率	667.2	679.6	682.3
一件当たり医療費(円)	24,490	21,940	22,710
一人当たり医療費(円)	16,340	14,910	15,500
一日当たり医療費(円)	15,750	14,940	14,960
一件当たり受診回数	1.6	1.5	1.5
入院			
入院費用の割合	40.8%	38.5%	40.6%
入院率	21.0	16.8	18.7
一件当たり医療費(円)	534,130	556,200	567,030
一人当たり医療費(円)	11,240	9,340	10,600
一日当たり医療費(円)	31,420	34,870	36,070
一件当たり在院日数	17.0	16.0	15.7

出典：国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

① 特定健康診査

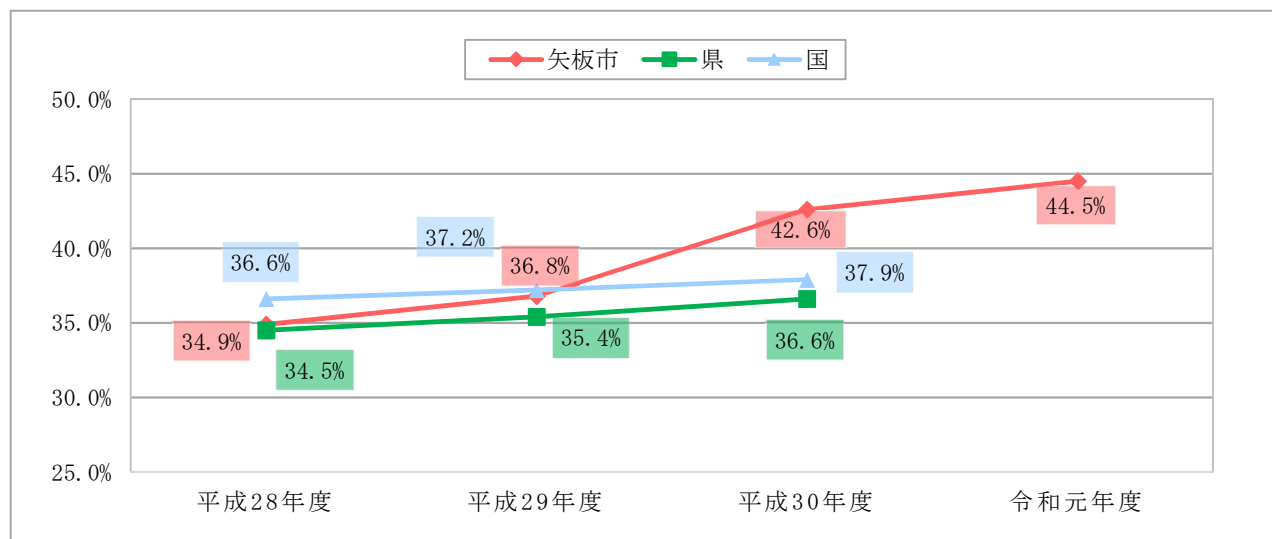
以下は、本市及び県・国の平成28年度から令和元年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を示したものです。

特定健康診査受診率

	矢板市			県	国
	受診対象者 (人)	受診者 (人)	割合		
平成28年度	6,390	2,229	34.9%	34.5%	36.6%
平成29年度	6,167	2,268	36.8%	35.4%	37.2%
平成30年度	6,027	2,567	42.6%	36.6%	37.9%
令和元年度	5,845	2,600	44.5%	—	—

出典: 特定健康診査・特定保健指導の実施状況

特定健康診査受診率



出典: 特定健康診査・特定保健指導の実施状況

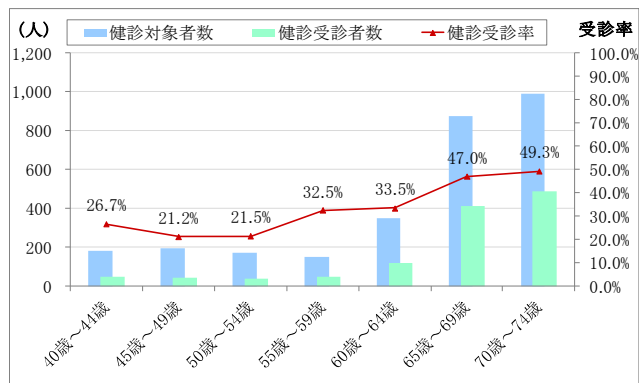
国、県より特定健康診査受診率が高くなっています。

メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合

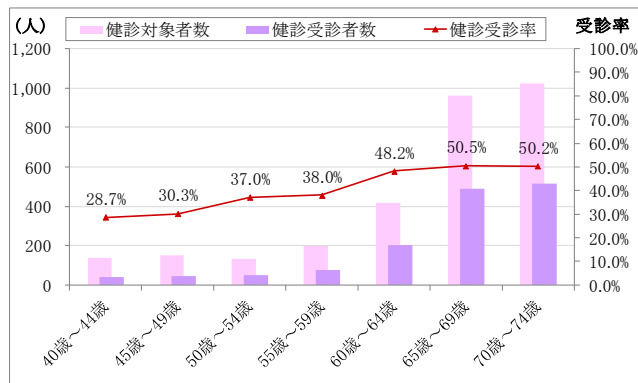
H = 平成 R = 令和		矢板市				県	国
		H28	H29	H30	R1	R1	R1
メタボリックシンドローム該当者		17.8%	18.9%	18.9%	18.9%	18.4%	19.0%
	男性	28.7%	29.1%	28.7%	28.7%	29.2%	29.9%
	女性	8.9%	10.0%	10.5%	10.6%	9.9%	10.4%
メタボリックシンドローム予備群		11.7%	12.0%	12.5%	11.7%	11.3%	11.1%
	男性	17.6%	17.9%	18.7%	18.0%	18.2%	17.7%
	女性	6.9%	6.8%	7.3%	6.4%	5.9%	6.0%

出典: 国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

(男性)年齢別特定健康診査受診率(令和元年度)



(女性)年齢別特定健康診査受診率(令和元年度)



出典: 国保データベース (KDB) システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

女性と比べ男性の40代、50代の健診受診率は低くなっています。また、健診対象者数、健診受診者数は60歳以降から大きく増加しています。

②特定保健指導

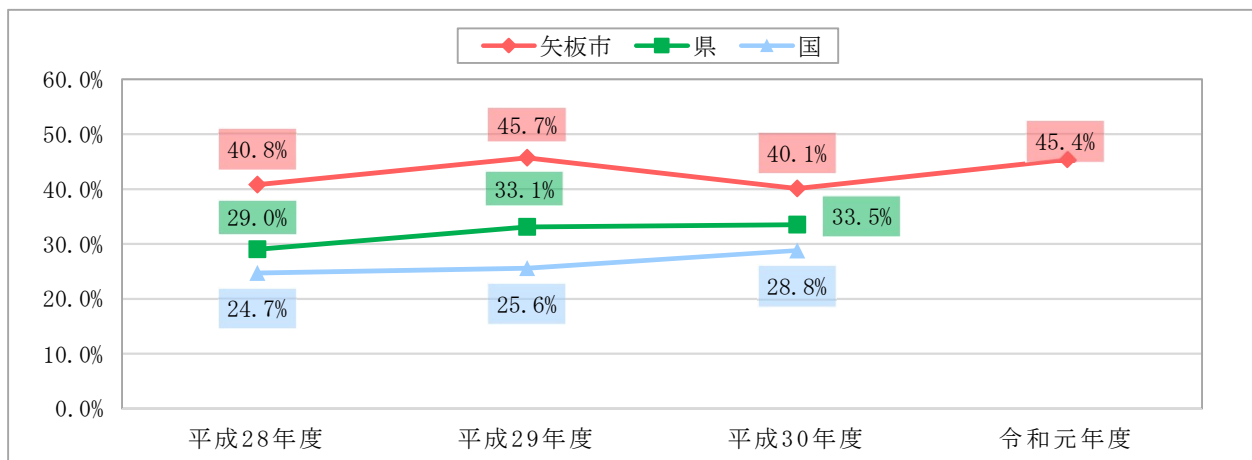
以下は、本市及び県・国の平成28年度から令和元年度における、特定保健指導の実施状況を示したものです。

特定保健指導実施状況

	矢板市	県	国
平成28年度	40.8%	29.0%	24.7%
平成29年度	45.7%	33.1%	25.6%
平成30年度	40.1%	33.5%	28.8%
令和元年度	45.4%	—	—

出典: 特定健康診査・特定保健指導の実施状況

特定保健指導実施状況



出典: 特定健康診査・特定保健指導の実施状況

国、県より特定保健指導実施率が高くなっています。

(4) 介護保険の状況

以下は、本市の令和元年度における、認定率及び給付費等の状況を示したものです。

本市の認定率は18.1%で県17.4%と比較すると0.7ポイント高く、国19.6%と比較すると1.5ポイント低くなっています。

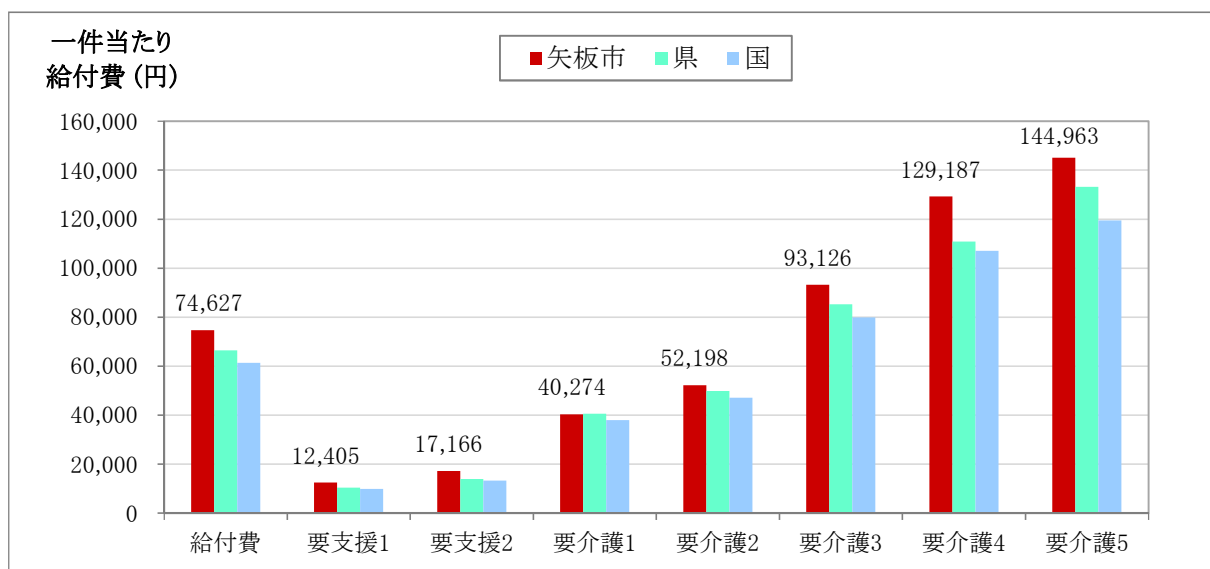
要介護度別の一件当たりの給付費をみると、要介護1は県より低く、国より高くなっており、それ以外の要支援1、2、要介護2～5については 国、県より高くなっています。

認定率及び給付費等の状況(令和元年度)

区分	矢板市	県	国
認定率	18.1%	17.4%	19.6%
認定者数(人)	1,770	91,559	6,620,276
第1号(65歳以上)	1,721	89,127	6,467,463
第2号(40～64歳)	49	2,432	152,813
一件当たり給付費(円)			
給付費	74,627	66,336	61,336
要支援1	12,405	10,287	9,825
要支援2	17,166	13,892	13,241
要介護1	40,274	40,571	37,931
要介護2	52,198	49,806	47,085
要介護3	93,126	85,220	79,808
要介護4	129,187	110,756	106,950
要介護5	144,963	133,113	119,410

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(令和元年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

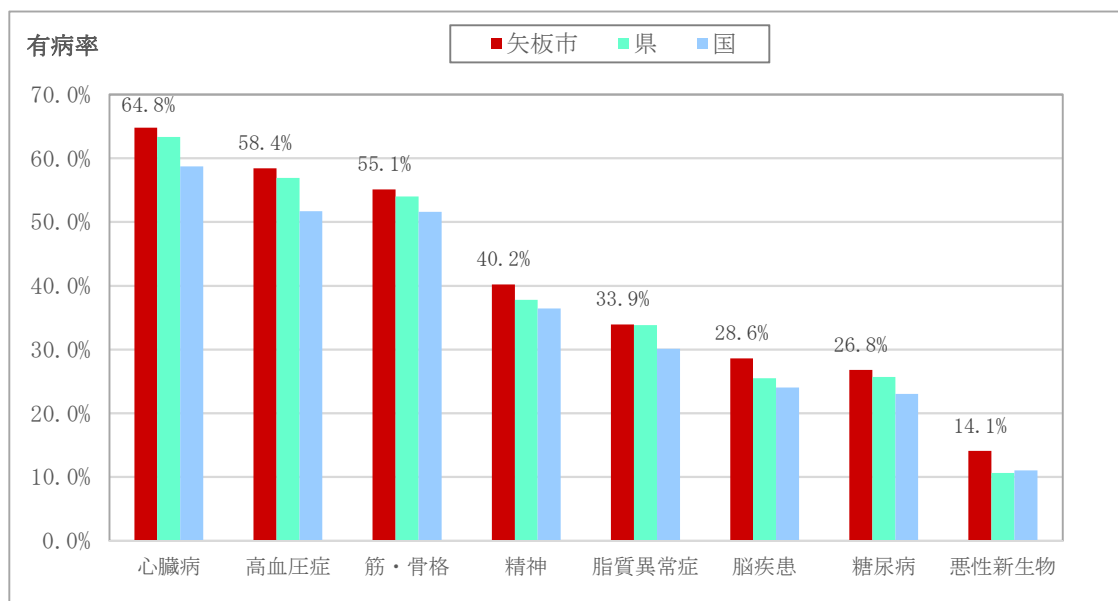
以下は、本市の令和元年度における、認定者の疾病別有病率を示したものです。疾病別の有病者数を合計すると5,687人となり、認定者は平均3.2疾病を有していることがわかります。

認定者の疾病別有病状況(令和元年度)

区分		矢板市	順位	県	順位	国	順位
認定者数(人)		1,770		91,559		6,620,276	
心臓病	実人数(人)	1,147	1	57,728	1	3,939,115	1
	有病率	64.8%		63.3%		58.7%	
高血圧症	実人数(人)	1,020	2	51,820	2	3,472,146	2
	有病率	58.4%		56.9%		51.7%	
筋・骨格	実人数(人)	970	3	48,954	3	3,448,596	3
	有病率	55.1%		54.0%		51.6%	
精神	実人数(人)	725	4	34,423	4	2,437,051	4
	有病率	40.2%		37.8%		36.4%	
脂質異常症	実人数(人)	609	5	31,057	5	2,036,238	5
	有病率	33.9%		33.8%		30.1%	
脳疾患	実人数(人)	493	6	22,967	7	1,587,755	6
	有病率	28.6%		25.5%		24.0%	
糖尿病	実人数(人)	485	7	23,446	6	1,537,914	7
	有病率	26.8%		25.7%		23.0%	
悪性新生物	実人数(人)	238	8	9,662	8	739,425	8
	有病率	14.1%		10.6%		11.0%	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

認定者の疾病別有病率(令和元年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

国、県、市ともに有病率上位5位は、第1位「心臓病」、第2位「高血圧症」、第3位「筋・骨格」、第4位「精神」、第5位「脂質異常症」となっています。

(5) 主たる死因の状況

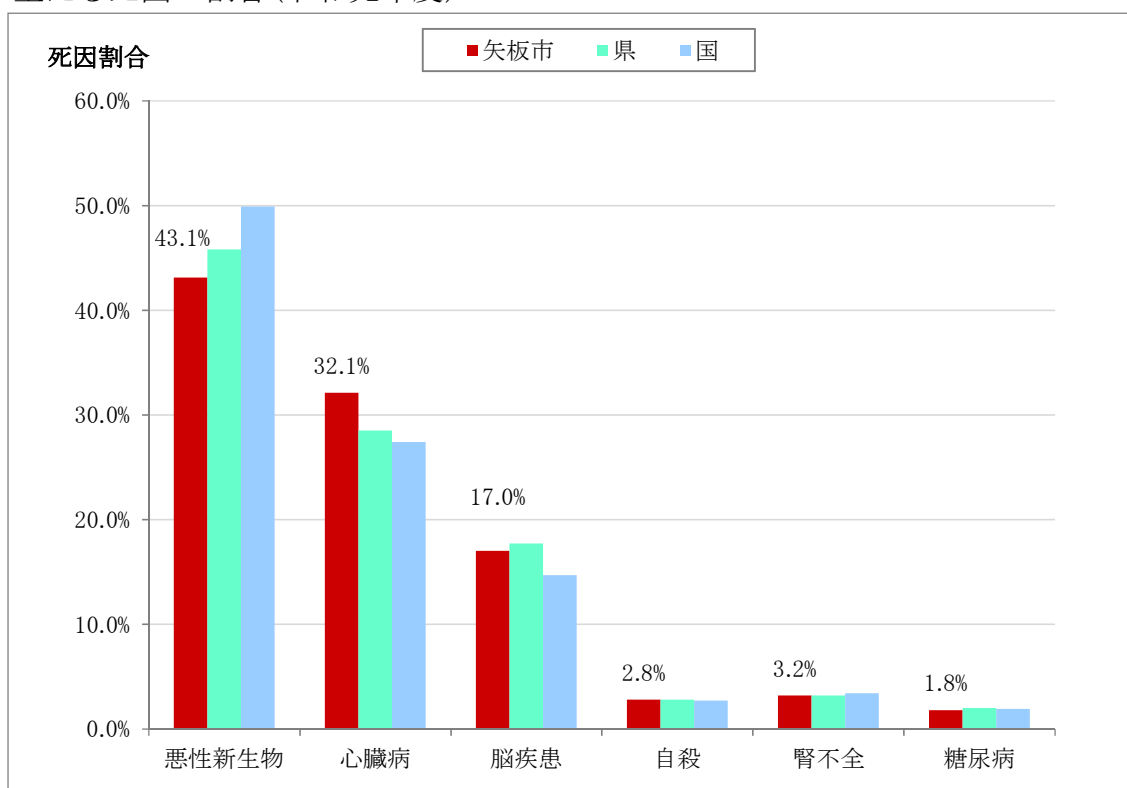
以下は、本市の令和元年度における、主たる死因の状況を示したものです。

主たる死因の状況(令和元年度)

疾病項目	矢板市		県	国
	人数(人)	割合		
悪性新生物	94	43.1%	45.8%	49.9%
心臓病	70	32.1%	28.5%	27.4%
脳疾患	37	17.0%	17.7%	14.7%
自殺	6	2.8%	2.8%	2.7%
腎不全	7	3.2%	3.2%	3.4%
糖尿病	4	1.8%	2.0%	1.9%
合計	218			

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

主たる死因の割合(令和元年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

本市の主たる死因は、「悪性新生物」、「心臓病」、「脳疾患」です。国、県と比較すると、「心臓病」が高い傾向にあります。

2. 今までの取り組みの考察

(1) 第2期データヘルス計画の各事業達成状況

中間評価の時点で、第2期データヘルス計画に基づき実施した各事業についての達成状況は以下のとおりです。

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平成30年度 ～ 令和2年度	特定健康診査事業	メタボリックシンドロームの早期発見による生活習慣病予防	40歳から74歳の被保険者を対象とし特定健康診査を実施します。
平成30年度 ～ 令和2年度	特定保健指導事業	生活習慣病の予防	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話等で行います。
平成30年度 ～ 令和2年度	糖尿病重症化予防事業	糖尿病の発症や重症化、人工透析への移行を防止	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を階層化し、適切な情報提供、医療機関と連携した受診勧奨や専門職による保健指導等を行います。
平成30年度 ～ 令和2年度	重複受診者(重複服薬者)及び頻回受診者への適正受診指導	適正受診による被保険者の健康保持増進、医療費適正化	レセプトデータから重複・頻回受診者、重複服薬者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、電話・訪問等で専門職による指導を行います。
平成30年度 ～ 令和2年度	要精検者の受診率向上	生活習慣病の重症化予防	特定健康診査の結果、医療機関受診勧奨値レベルであるが医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知等で受診勧奨を行います。
平成30年度 ～ 令和2年度	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定し、差額通知を送付します。

5:目標達成
4:改善している
3:横ばい
2:悪化している
1:評価できない

実施内容	目標値 (令和5 年度)	達成状況	達成・未達成要因	評価
公民館等市の公共施設において、集団健康診査を実施しました。平成30年度から検査項目にHbA1cを追加し、糖尿病対策に力を入れました。また、人間ドック・脳ドックを契約医療機関において実施しました。	受診率 60%	平成28年度 34.9% 平成29年度 36.8% 平成30年度 42.6% 令和元年度 44.5%	未受診者への通知や電話での受診勧奨により、受診率は年々増加しています。40～50代の若い世代や治療中の方の受診率が低いので、対策が必要です。	4
生活習慣や検査値が改善されるよう、保健師・管理栄養士・歯科衛生士による保健指導を行いました。	実施率 60%	平成28年度 40.8% 平成29年度 45.7% 平成30年度 40.1% 令和元年度 45.4%	電話勧奨等により初回面接の実施率は上がりました。しかし、特定保健指導対象者、特に積極的支援対象者に該当する者が比較的年齢が若く、電話での継続支援に対して理解が得られなかったこと等が目標の未達成要因として考えられます。また、特定保健指導に連続して該当する者が多いことも、実施率に影響を与える要因の1つとして考えられます。	4
適切な情報提供、医療機関と連携した専門職による保健指導、受診勧奨を行いました。 健康診査やレセプトデータ等より検査値の推移、通院の有無、健康状態、服薬状況等を確認しました。	対象者の事業参加率 (保健指導) 60%	平成28年度 - 平成29年度 0% 平成30年度 14.3% 令和元年度 15.4%	参加率は徐々に伸びていますが、参加者の多くが65歳以上の高齢者です。重症化している人の多くは、複数の生活習慣病（高血圧、高脂血症等）を持っているため、若年層への重症化予防に対する理解のための啓発と周知が重要となります。かかりつけ医と事業に関する理解の共有をし、対象者には市とかかりつけ医の双方から、アプローチするなどの連携を図る必要があります。	4
訪問等により健康状態や生活状況を把握し、健康相談やかかりつけ医の推奨による適正受診指導等を行いました。 指導後に、医療機関への受診行動が適正化されているか、レセプトデータにより確認しました。	指導率 60%	平成28年度 7% 平成29年度 100% 平成30年度 92% 令和元年度 100%	訪問の事前通知をすることで、比較的在宅の状態で指導することができ目標値は達成できました。しかし、訪問指導後の行動変容が重要であるため、実施後の評価をし、改善のための効果的な訪問指導を実施していく必要があります。	5
要精検者に医療機関受診勧奨通知を作成し、郵送しました。 通知後に医療機関受診があるかを確認しました。	受診率の向上	平成28年度 47.1% 平成29年度 48.6% 平成30年度 48.8% 令和元年度 48.6%	平成28年度と比較すると受診率は、増加していますが、ほぼ横ばいです。受診率向上のために、通知内容や送付時期を検討する必要があります。	4
年2回、8月と2月に差額通知を郵送しました。ジェネリック医薬品への切替状況や普及率を、栃木県国保連合会提供資料により確認しました。 また希望シールを配付し、普及に努めました。	普及率 80%	平成28年度 64.7% 平成29年度 69.5% 平成30年度 74.7% 令和元年度 76.4%	差額通知送付や希望シールの配付により、普及率は年々増加しています。普及に伴い通知対象者が減少しているので、送付条件について検討する必要があります。	4

3. 医療情報分析結果

(1) 基礎統計

当医療費統計は、矢板市国民健康保険における、平成31年4月から令和2年3月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプトを対象とし分析します。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りです。被保険者数は平均7,920人、レセプト件数は平均8,378件、患者数は平均4,139人となっています。また、患者一人当たりの医療費は平均53,616円となっています。

基礎統計

		平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月
A	被保険者数(人)	8,153	8,006	7,964	7,944	7,903	7,901	7,894
B	レセプト件数(件)	入院外	5,596	5,256	5,427	5,518	5,314	5,281
		入院	187	183	177	182	176	174
		調剤	3,008	2,816	2,830	2,868	2,781	2,756
		合計	8,791	8,255	8,434	8,568	8,271	8,189
C	医療費(円) ※	240,918,000	227,406,360	221,545,930	243,435,230	224,392,490	200,041,090	225,820,560
D	患者数(人) ※	4,324	4,082	4,156	4,187	4,082	4,053	4,210
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	29,550	28,404	27,818	30,644	28,393	25,318	28,607
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	27,405	27,548	26,268	28,412	27,130	24,428	26,228
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	55,716	55,710	53,307	58,141	54,971	49,356	53,639
B/A	受診率	107.8%	103.1%	105.9%	107.9%	104.7%	103.6%	109.1%
D/A	有病率	53.0%	51.0%	52.2%	52.7%	51.7%	51.3%	53.3%

		令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	被保険者数(人)	7,865	7,848	7,851	7,847	7,862	7,920	
B	レセプト件数(件)	入院外	5,371	5,550	5,305	5,185	5,142	5,371
		入院	161	149	167	162	158	169
		調剤	2,790	2,939	2,815	2,793	2,735	2,839
		合計	8,322	8,638	8,287	8,140	8,035	8,378
C	医療費(円) ※	212,323,310	226,056,060	226,369,590	202,708,660	212,105,110	221,926,866	2,663,122,390
D	患者数(人) ※	4,114	4,258	4,125	4,061	4,018	4,139	49,670
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	26,996	28,804	28,833	25,833	26,979	28,022	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	25,513	26,170	27,316	24,903	26,398	26,488	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	51,610	53,090	54,877	49,916	52,789	53,616	
B/A	受診率	105.8%	110.1%	105.6%	103.7%	102.2%	105.8%	
D/A	有病率	52.3%	54.3%	52.5%	51.8%	51.1%	52.3%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

(2) 高額レセプトの件数及び医療費

① 高額レセプトの件数及び割合

平成31年4月から令和2年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計しました。高額レセプトは863件発生しており、レセプト件数全体の0.9%を占めています。高額レセプトの医療費は8億5,638万円となり、医療費全体の32.2%を占めています。

高額(5万点以上) レセプト件数及び割合

		平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月
A	レセプト件数(件)	8,791	8,255	8,434	8,568	8,271	8,189	8,610
B	高額レセプト件数(件)	91	74	71	93	72	56	74
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合	1.0%	0.9%	0.8%	1.1%	0.9%	0.7%	0.9%
C	医療費全体(円) ※	240,918,000	227,406,360	221,545,930	243,435,230	224,392,490	200,041,090	225,820,560
D	高額レセプトの医療費(円) ※	87,437,980	77,612,240	69,814,420	89,622,560	69,714,650	52,278,520	72,297,230
E	その他レセプトの医療費(円) ※	153,480,020	149,794,120	151,731,510	153,812,670	154,677,840	147,762,570	153,523,330
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合	36.3%	34.1%	31.5%	36.8%	31.1%	26.1%	32.0%

		令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	8,322	8,638	8,287	8,140	8,035	8,378	100,540
B	高額レセプト件数(件)	61	64	80	61	66	72	863
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合	0.7%	0.7%	1.0%	0.7%	0.8%	0.9%	
C	医療費全体(円) ※	212,323,310	226,056,060	226,369,590	202,708,660	212,105,110	221,926,866	2,663,122,390
D	高額レセプトの医療費(円) ※	63,451,640	71,206,620	79,091,020	59,433,420	64,415,020	71,364,610	856,375,320
E	その他レセプトの医療費(円) ※	148,871,670	154,849,440	147,278,570	143,275,240	147,690,090	150,562,256	1,806,747,070
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合	29.9%	31.5%	34.9%	29.3%	30.4%	32.2%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

②高額レセプト発生患者の疾病傾向

以下は、平成31年4月から令和2年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示したものです。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計しました。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「白血病」「その他の循環器系の疾患」「気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」等となっています。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0209	白血病	急性骨髄性白血病, 慢性骨髄性白血病, 骨髄性白血病	4	29,864,240	10,265,160	40,129,400	10,032,350
2	0912	その他の循環器系の疾患	胸部大動脈瘤, 上腕動脈瘤, 胃静脈瘤出血	4	26,125,420	4,215,140	30,340,560	7,585,140
3	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 肺癌, 下葉肺腺癌	16	32,904,420	59,074,920	91,979,340	5,748,709
4	1011	その他の呼吸器系の疾患	特発性肺線維症, 誤嚥性肺炎, 縦隔膿瘍	8	36,210,980	9,521,180	45,732,160	5,716,520
5	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	18	32,079,440	63,247,490	95,326,930	5,295,941
6	0603	てんかん	てんかん, 症候性てんかん, 難治性てんかん	3	14,553,270	781,460	15,334,730	5,111,577
7	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	カルニチン欠乏症, 副腎白質ジストロフィー	2	9,518,890	124,520	9,643,410	4,821,705
8	1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	急性硬膜下血腫・頭蓋内に達する開放創合併なし	1	4,332,210	161,940	4,494,150	4,494,150
9	0605	自律神経系の障害	多系統萎縮症	3	12,975,900	310,900	13,286,800	4,428,933
10	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	早産児	1	3,596,580	736,270	4,332,850	4,332,850
11	0606	その他の神経系の疾患	不眠症, 多発性硬化症, 代償性水頭症	6	21,780,120	4,066,940	25,847,060	4,307,843
12	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	うつ病, 躁うつ病	2	7,133,330	634,090	7,767,420	3,883,710
13	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 非定型精神病	16	47,545,280	13,176,930	60,722,210	3,795,138
14	0905	脳内出血	脳出血, 視床出血, 脳皮質下出血	5	17,375,310	1,296,950	18,672,260	3,734,452
15	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	5	10,362,550	7,274,300	17,636,850	3,527,370
16	0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	アルコール依存症	1	2,285,900	1,037,740	3,323,640	3,323,640
17	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, C型肝炎ウイルス感染	5	0	16,431,680	16,431,680	3,286,336
18	1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症, 下腿偽関節, 閉経後骨粗鬆症	5	13,757,000	1,869,350	15,626,350	3,125,270
19	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 卵巣癌, 腎癌	54	82,020,100	85,731,740	167,751,840	3,106,516
20	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 横行結腸癌, 上行結腸癌	7	9,695,430	12,030,010	21,725,440	3,103,634

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

以下は、平成31年4月から令和2年3月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示したものです。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物＜腫瘍＞」「虚血性心疾患」「その他の心疾患」等となっています。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	前立腺癌, 卵巣癌, 腎癌	54	82,020,100	85,731,740	167,751,840	3,106,516
2	0902	虚血性心疾患	冠状動脈硬化症, 急性前壁心筋梗塞, 労作性狭心症	22	38,872,240	7,672,210	46,544,450	2,115,657
3	0903	その他の心疾患	心房細動, うっ血性心不全, 非弁膜症性心房細動	19	36,315,620	8,871,780	45,187,400	2,378,284
4	1402	腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全	18	32,079,440	63,247,490	95,326,930	5,295,941
5	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	上葉肺癌, 肺癌, 下葉肺腺癌	16	32,904,420	59,074,920	91,979,340	5,748,709
5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 非定型精神病	16	47,545,280	13,176,930	60,722,210	3,795,138
7	1113	その他の消化器系の疾患	便秘症, 潰瘍性大腸炎・全大腸炎型, 大腸クローン病	15	20,262,930	12,803,840	33,066,770	2,204,451
8	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群, 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症, 特発性大腿骨頭壊死	13	18,082,500	8,005,570	26,088,070	2,006,775
9	0906	脳梗塞	脳梗塞・急性期, 脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞	12	30,260,510	2,730,560	32,991,070	2,749,256
10	0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	乳癌, 乳房上内側部乳癌, 乳房中央部乳癌	11	11,351,080	21,123,620	32,474,700	2,952,245
10	1901	骨折	踵骨骨折, 大腿骨転子部骨折, 頭頂骨開放性陥没骨折	11	29,826,860	2,558,960	32,385,820	2,944,165
12	1302	関節症	変形性股関節症, 原発性膝関節症, 変形性膝関節症	10	22,732,860	3,070,960	25,803,820	2,580,382
13	0704	その他の眼及び付属器の疾患	網膜前膜, 増殖性網膜剥離, 黄斑円孔	9	7,150,990	2,942,960	10,093,950	1,121,550
14	0908	その他の脳血管疾患	慢性硬膜下血腫, 脳塞栓症, 前大脳動脈瘤	8	21,006,220	1,589,850	22,596,070	2,824,509
14	1011	その他の呼吸器系の疾患	特発性肺線維症, 誤嚥性肺炎, 縦隔膿瘍	8	36,210,980	9,521,180	45,732,160	5,716,520
14	1111	胆石症及び胆のう炎	胆石性胆のう炎, 急性胆のう炎, 総胆管結石	8	8,913,960	1,648,210	10,562,170	1,320,271
17	0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	早期胃癌, 胃癌, 胃体部癌	7	15,349,620	3,018,640	18,368,260	2,624,037
17	0202	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	S状結腸癌, 横行結腸癌, 上行結腸癌	7	9,695,430	12,030,010	21,725,440	3,103,634
17	0211	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	卵巣腫瘍, 卵巣のう腫, 腎腫瘍	7	5,501,110	1,466,950	6,968,060	995,437
17	1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	肩腱板断裂, 頸髄損傷, 脳外傷後遺症	7	16,209,080	3,043,980	19,253,060	2,750,437

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

(3) 疾病別医療費

①大分類による疾病別医療費統計

平成31年4月から令和2年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出しました。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の16.4%、「循環器系の疾患」は医療費合計の14.2%と高い割合を占めています。

大分類による疾病別医療費統計 ※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	70,893,304	2.7%	12	7,440	13	2,068	10	34,281	14
II. 新生物<腫瘍>	435,755,405	16.4%	1	8,155	12	2,289	7	190,369	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	28,229,143	1.0%	15	3,276	15	936	15	30,159	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	276,484,331	10.4%	3	39,927	2	3,879	1	71,277	8
V. 精神及び行動の障害	267,890,325	10.1%	4	11,054	8	979	14	273,637	2
VI. 神経系の疾患	215,014,948	8.1%	5	18,382	5	1,889	11	113,825	5
VII. 眼及び付属器の疾患	84,337,956	3.2%	10	8,908	10	2,380	6	35,436	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	7,926,934	0.3%	17	2,515	16	661	16	11,992	20
IX. 循環器系の疾患	377,386,460	14.2%	2	41,849	1	3,795	2	99,443	7
X. 呼吸器系の疾患	137,031,954	5.1%	9	18,082	6	3,593	4	38,139	12
X I. 消化器系の疾患 ※	169,584,002	6.4%	8	27,879	3	3,679	3	46,095	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	60,442,058	2.3%	13	11,205	7	2,277	8	26,545	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	201,412,916	7.6%	6	23,834	4	3,073	5	65,543	9
X IV. 腎尿路生殖系系の疾患	183,591,066	6.9%	7	8,275	11	1,772	12	103,607	6
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	5,966,625	0.2%	18	106	19	39	19	152,990	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	4,941,784	0.2%	19	26	21	10	21	494,178	1
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	4,146,016	0.1%	20	675	18	209	18	19,837	17
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	44,627,836	1.7%	14	9,379	9	2,253	9	19,808	18
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	75,437,174	2.8%	11	4,239	14	1,380	13	54,665	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8,839,998	0.3%	16	2,181	17	517	17	17,099	19
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	63,695	0.0%	21	33	20	15	20	4,246	21
合計	2,660,003,930			100,161		7,150		372,029	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

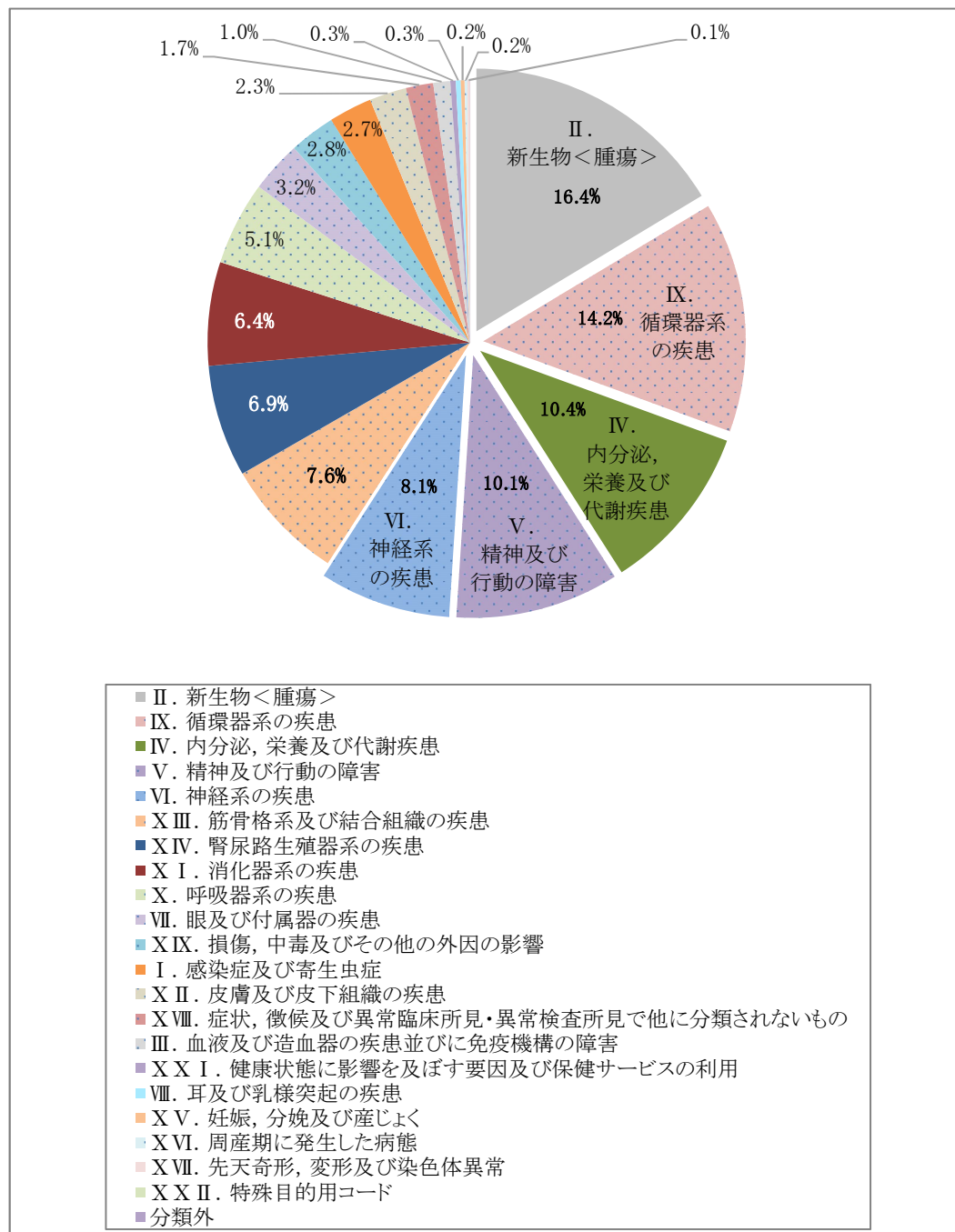
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「新生物＜腫瘍＞」「循環器系の疾患」「内分泌，栄養及び代謝疾患」「精神及び行動の障害」「神経系の疾患」の医療費で高い割合を占めています。

疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

②中分類による疾病別医療費統計

以下は、平成31年4月から令和2年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示したものです。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比 (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	171,204,415	6.4%	1,034
2	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	162,133,935	6.1%	333
3	0402	糖尿病	156,128,996	5.9%	2,569
4	1402	腎不全	141,791,367	5.3%	214
5	0901	高血圧性疾患	112,212,500	4.2%	2,927
6	0606	その他の神経系の疾患	106,814,949	4.0%	1,695
7	1113	その他の消化器系の疾患	104,271,199	3.9%	2,424
8	0903	その他の心疾患	96,713,686	3.6%	1,528
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	84,047,599	3.2%	341
10	0403	脂質異常症	75,474,522	2.8%	2,325

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比 (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	112,212,500	2,927	40.9%
2	0402	糖尿病	156,128,996	2,569	35.9%
3	1113	その他の消化器系の疾患	104,271,199	2,424	33.9%
4	0403	脂質異常症	75,474,522	2,325	32.5%
5	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	44,627,836	2,253	31.5%
6	1105	胃炎及び十二指腸炎	20,819,188	1,871	26.2%
7	0606	その他の神経系の疾患	106,814,949	1,695	23.7%
8	0703	屈折及び調節の障害	6,440,861	1,694	23.7%
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	42,841,424	1,669	23.3%
10	1202	皮膚炎及び湿疹	21,167,147	1,593	22.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0209	白血病	22,917,804	13	1,762,908
2	1402	腎不全	141,791,367	214	662,576
3	0501	血管性及び詳細不明の認知症	18,021,994	30	600,733
4	1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	3,552,605	7	507,515
5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	162,133,935	333	486,889
6	0602	アルツハイマー病	20,856,262	50	417,125
7	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	21,061,246	67	314,347
8	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	16,096,846	53	303,714
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	84,047,599	341	246,474
10	0601	パーキンソン病	21,981,595	92	238,930

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数(人) ※
	2,660,003,930	100,161	7,150

疾病分類	医療費(円) ※	構成比	順位	レセプト件数 ※	構成比	順位	患者数(人) ※	構成比	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	70,893,304	2.7%		7,440	7.4%		2,068	28.9%		34,281	
0101 腸管感染症	3,547,884	0.1%	87	1,169	1.2%	64	453	6.3%	49	7,832	104
0102 結核	1,177,815	0.0%	104	220	0.2%	101	113	1.6%	88	10,423	96
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	630,556	0.0%	110	255	0.3%	98	184	2.6%	77	3,427	117
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	4,844,030	0.2%	80	1,331	1.3%	57	394	5.5%	55	12,294	89
0105 ウイルス性肝炎	27,106,233	1.0%	31	814	0.8%	74	301	4.2%	64	90,054	24
0106 その他のウイルス性疾患	8,426,572	0.3%	67	203	0.2%	102	108	1.5%	89	78,024	25
0107 真菌症	15,217,157	0.6%	49	3,100	3.1%	34	865	12.1%	30	17,592	77
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	129,161	0.0%	116	41	0.0%	111	13	0.2%	111	9,935	100
0109 その他の感染症及び寄生虫症	9,813,896	0.4%	59	1,313	1.3%	59	514	7.2%	44	19,093	73
II. 新生物<腫瘍>	435,755,405	16.4%		8,155	8.1%		2,289	32.0%		190,369	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	24,256,516	0.9%	33	1,193	1.2%	62	585	8.2%	37	41,464	41
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	25,042,299	0.9%	32	953	1.0%	68	423	5.9%	53	59,202	33
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	21,061,246	0.8%	38	300	0.3%	95	67	0.9%	96	314,347	7
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	8,741,786	0.3%	64	438	0.4%	86	196	2.7%	74	44,601	38
0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	84,047,599	3.2%	9	938	0.9%	69	341	4.8%	59	246,474	9
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	37,621,665	1.4%	18	927	0.9%	70	194	2.7%	76	193,926	13
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	3,895,644	0.1%	83	242	0.2%	100	133	1.9%	84	29,291	57
0208 悪性リンパ腫	9,423,125	0.4%	62	286	0.3%	96	70	1.0%	95	134,616	19
0209 白血病	22,917,804	0.9%	34	69	0.1%	108	13	0.2%	111	1,762,908	1
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	171,204,415	6.4%	1	3,388	3.4%	30	1,034	14.5%	22	165,575	15
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	27,543,306	1.0%	30	2,370	2.4%	42	1,038	14.5%	21	26,535	63
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	28,229,143	1.1%		3,276	3.3%		936	13.1%		30,159	
0301 貧血	8,786,642	0.3%	63	2,162	2.2%	45	595	8.3%	36	14,767	82
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	19,442,501	0.7%	43	1,329	1.3%	58	507	7.1%	46	38,348	46
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	276,484,331	10.4%		39,927	39.9%		3,879	54.3%		71,277	
0401 甲状腺障害	13,520,934	0.5%	52	3,099	3.1%	35	676	9.5%	34	20,001	71
0402 糖尿病	156,128,996	5.9%	3	18,981	19.0%	4	2,569	35.9%	2	60,774	32
0403 脂質異常症	75,474,522	2.8%	10	26,892	26.8%	2	2,325	32.5%	4	32,462	54
0404 その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	31,359,879	1.2%	25	8,043	8.0%	9	1,092	15.3%	20	28,718	58
V. 精神及び行動の障害	267,890,325	10.1%		11,054	11.0%		979	13.7%		273,637	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	18,021,994	0.7%	44	158	0.2%	103	30	0.4%	107	600,733	3
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	5,076,286	0.2%	79	420	0.4%	88	54	0.8%	100	94,005	23
0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	162,133,935	6.1%	2	4,725	4.7%	22	333	4.7%	60	486,889	5

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数(人) ※
	2,660,003,930	100,161	7,150

疾病分類	医療費(円) ※	構成比	順位	レセプト件数 ※	構成比	順位	患者数(人) ※	構成比	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	45,046,926	1.7%	12	5,855	5.8%	19	438	6.1%	50	102,847	21
0505 神経症性障害、ストレス関連障害 及び身体表現性障害	20,061,567	0.8%	42	5,524	5.5%	20	541	7.6%	41	37,082	49
0506 知的障害<精神遅滞>	2,721,484	0.1%	91	499	0.5%	84	39	0.5%	103	69,782	28
0507 その他の精神及び行動の障害	14,828,133	0.6%	51	1,272	1.3%	61	147	2.1%	82	100,872	22
Ⅵ. 神経系の疾患	215,014,948	8.1%		18,382	18.4%		1,889	26.4%		113,825	
0601 パーキンソン病	21,981,595	0.8%	36	1,088	1.1%	65	92	1.3%	93	238,930	10
0602 アルツハイマー病	20,856,262	0.8%	39	447	0.4%	85	50	0.7%	102	417,125	6
0603 てんかん	39,376,478	1.5%	16	2,576	2.6%	41	231	3.2%	71	170,461	14
0604 脳性麻痺及びその他の 麻痺性症候群	16,096,846	0.6%	47	248	0.2%	99	53	0.7%	101	303,714	8
0605 自律神経系の障害	9,888,818	0.4%	58	903	0.9%	72	84	1.2%	94	117,724	20
0606 その他の神経系の疾患	106,814,949	4.0%	6	16,179	16.2%	5	1,695	23.7%	7	63,018	31
Ⅶ. 眼及び付属器の疾患	84,337,956	3.2%		8,908	8.9%		2,380	33.3%		35,436	
0701 結膜炎	5,974,337	0.2%	74	3,608	3.6%	27	1,094	15.3%	19	5,461	109
0702 白内障	29,081,334	1.1%	28	3,375	3.4%	31	805	11.3%	33	36,126	50
0703 屈折及び調節の障害	6,440,861	0.2%	72	5,882	5.9%	17	1,694	23.7%	8	3,802	115
0704 その他の眼及び付属器の疾患	42,841,424	1.6%	14	6,261	6.3%	15	1,669	23.3%	9	25,669	64
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患	7,926,934	0.3%		2,515	2.5%		661	9.2%		11,992	
0801 外耳炎	343,067	0.0%	112	275	0.3%	97	95	1.3%	92	3,611	116
0802 その他の外耳疾患	939,080	0.0%	106	428	0.4%	87	225	3.1%	72	4,174	114
0803 中耳炎	1,314,522	0.0%	101	579	0.6%	81	114	1.6%	87	11,531	92
0804 その他の中耳及び 乳様突起の疾患	467,718	0.0%	111	317	0.3%	94	66	0.9%	97	7,087	105
0805 メニエール病	1,727,845	0.1%	96	730	0.7%	77	138	1.9%	83	12,521	86
0806 その他の内耳疾患	1,457,705	0.1%	99	355	0.4%	89	133	1.9%	84	10,960	94
0807 その他の耳疾患	1,676,997	0.1%	97	784	0.8%	75	258	3.6%	68	6,500	107
Ⅸ. 循環器系の疾患	377,386,460	14.2%		41,849	41.8%		3,795	53.1%		99,443	
0901 高血圧性疾患	112,212,500	4.2%	5	36,191	36.1%	1	2,927	40.9%	1	38,337	47
0902 虚血性心疾患	58,520,157	2.2%	11	6,508	6.5%	13	850	11.9%	31	68,847	29
0903 その他の心疾患	96,713,686	3.6%	8	8,787	8.8%	8	1,528	21.4%	11	63,294	30
0904 くも膜下出血	1,304,894	0.0%	102	13	0.0%	115	9	0.1%	114	144,988	17
0905 脳内出血	15,779,373	0.6%	48	318	0.3%	93	115	1.6%	86	137,212	18
0906 脳梗塞	30,435,052	1.1%	26	2,672	2.7%	40	430	6.0%	52	70,779	26
0907 脳動脈硬化(症)	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
0908 その他の脳血管疾患	20,351,281	0.8%	41	1,773	1.8%	53	514	7.2%	44	39,594	43
0909 動脈硬化(症)	11,474,676	0.4%	54	2,309	2.3%	43	535	7.5%	42	21,448	69
0911 低血圧(症)	320,065	0.0%	113	151	0.2%	104	24	0.3%	108	13,336	83
0912 その他の循環器系の疾患	30,274,776	1.1%	27	2,083	2.1%	48	525	7.3%	43	57,666	34
Ⅹ. 呼吸器系の疾患	137,031,954	5.2%		18,082	18.1%		3,593	50.3%		38,139	
1001 急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	1,908,823	0.1%	95	1,707	1.7%	54	666	9.3%	35	2,866	119
1002 急性咽喉炎及び急性扁桃炎	5,165,795	0.2%	78	3,065	3.1%	36	1,164	16.3%	16	4,438	111
1003 その他の急性上気道感染症	6,860,107	0.3%	71	3,437	3.4%	29	1,263	17.7%	14	5,432	110

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数(人) ※
	2,660,003,930	100,161	7,150

疾病分類		医療費(円) ※	構成比	順位	レセプト件数 ※	構成比	順位	患者数(人) ※	構成比	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
1004	肺炎	16,476,628	0.6%	46	965	1.0%	66	419	5.9%	54	39,324	44
1005	急性気管支炎及び 急性細気管支炎	9,690,590	0.4%	60	3,371	3.4%	33	1,130	15.8%	18	8,576	103
1006	アレルギー性鼻炎	16,784,973	0.6%	45	6,282	6.3%	14	1,365	19.1%	12	12,297	88
1007	慢性副鼻腔炎	4,406,368	0.2%	81	2,174	2.2%	44	437	6.1%	51	10,083	98
1008	急性又は慢性と明示されない 気管支炎	1,179,031	0.0%	103	753	0.8%	76	267	3.7%	66	4,416	112
1009	慢性閉塞性肺疾患	9,628,296	0.4%	61	1,957	2.0%	51	356	5.0%	58	27,046	62
1010	喘息	22,702,622	0.9%	35	4,190	4.2%	25	813	11.4%	32	27,925	61
1011	その他の呼吸器系の疾患	42,228,721	1.6%	15	2,799	2.8%	38	1,028	14.4%	23	41,079	42
X I . 消化器系の疾患		169,584,002	6.4%		27,879	27.8%		3,679	51.5%		46,095	
1101	う蝕 ※	1,695	0.0%	122	4	0.0%	120	2	0.0%	121	848	122
1102	歯肉炎及び歯周疾患	8,595	0.0%	121	4	0.0%	120	3	0.0%	119	2,865	120
1103	その他の歯及び歯の支持組織の 障害	9,414	0.0%	120	6	0.0%	119	4	0.1%	118	2,354	121
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	10,921,579	0.4%	55	4,215	4.2%	24	576	8.1%	38	18,961	74
1105	胃炎及び十二指腸炎	20,819,188	0.8%	40	10,579	10.6%	6	1,871	26.2%	6	11,127	93
1106	痔核	1,951,954	0.1%	93	508	0.5%	83	159	2.2%	80	12,276	90
1107	アルコール性肝疾患	1,944,687	0.1%	94	324	0.3%	91	60	0.8%	98	32,411	55
1108	慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)	1,650,048	0.1%	98	912	0.9%	71	106	1.5%	90	15,566	81
1109	肝硬変 (アルコール性のものを除く)	3,932,286	0.1%	82	353	0.4%	90	106	1.5%	90	37,097	48
1110	その他の肝疾患	10,302,492	0.4%	56	3,373	3.4%	32	1,006	14.1%	24	10,241	97
1111	胆石症及び胆のう炎	10,013,967	0.4%	57	959	1.0%	67	240	3.4%	70	41,725	40
1112	膵疾患	3,756,898	0.1%	85	868	0.9%	73	376	5.3%	56	9,992	99
1113	その他の消化器系の疾患	104,271,199	3.9%	7	19,284	19.3%	3	2,424	33.9%	3	43,016	39
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		60,442,058	2.3%		11,205	11.2%		2,277	31.8%		26,545	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	6,408,592	0.2%	73	2,813	2.8%	37	905	12.7%	29	7,081	106
1202	皮膚炎及び湿疹	21,167,147	0.8%	37	7,493	7.5%	10	1,593	22.3%	10	13,288	84
1203	その他の皮膚及び 皮下組織の疾患	32,866,319	1.2%	21	5,418	5.4%	21	1,157	16.2%	17	28,406	59
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		201,412,916	7.6%		23,834	23.8%		3,073	43.0%		65,543	
1301	炎症性多発性関節障害	28,859,327	1.1%	29	4,146	4.1%	26	570	8.0%	39	50,630	36
1302	関節症	37,668,663	1.4%	17	7,357	7.3%	11	967	13.5%	27	38,954	45
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	31,976,883	1.2%	24	6,558	6.5%	12	933	13.0%	28	34,273	52
1304	椎間板障害	6,888,586	0.3%	70	2,083	2.1%	48	314	4.4%	63	21,938	67
1305	頸腕症候群	2,248,244	0.1%	92	2,126	2.1%	47	255	3.6%	69	8,817	102
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	14,976,708	0.6%	50	5,875	5.9%	18	1,175	16.4%	15	12,746	85
1307	その他の脊柱障害	5,762,763	0.2%	77	1,292	1.3%	60	364	5.1%	57	15,832	79
1308	肩の傷害<損傷>	3,217,870	0.1%	89	2,042	2.0%	50	326	4.6%	62	9,871	101
1309	骨の密度及び構造の障害	32,249,662	1.2%	23	4,717	4.7%	23	568	7.9%	40	56,778	35
1310	その他の筋骨格系及び 結合組織の疾患	37,564,210	1.4%	19	5,919	5.9%	16	1,324	18.5%	13	28,372	60

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計		医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数(人) ※				
		2,660,003,930			100,161			7,150				
疾病分類		医療費(円) ※	構成比	順位	レセプト件数 ※	構成比	順位	患者数(人) ※	構成比	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XⅣ. 腎尿路生殖器系の疾患		183,591,066	6.9%		8,275	8.3%		1,772	24.8%		103,607	
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	5,806,899	0.2%	76	1,178	1.2%	63	286	4.0%	65	20,304	70
1402	腎不全	141,791,367	5.3%	4	1,945	1.9%	52	214	3.0%	73	662,576	2
1403	尿路結石症	3,823,999	0.1%	84	558	0.6%	82	178	2.5%	78	21,483	68
1404	その他の腎尿路系の疾患	12,330,440	0.5%	53	3,467	3.5%	28	1,000	14.0%	26	12,330	87
1405	前立腺肥大(症)	8,450,825	0.3%	66	1,370	1.4%	56	261	3.7%	67	32,379	56
1406	その他の男性生殖器の疾患	632,592	0.0%	109	151	0.2%	104	59	0.8%	99	10,722	95
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	2,741,284	0.1%	90	729	0.7%	78	155	2.2%	81	17,686	76
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	8,013,660	0.3%	68	653	0.7%	79	329	4.6%	61	24,358	66
XⅤ. 妊娠, 分娩及び産じょく		5,966,625	0.2%		106	0.1%		39	0.5%		152,990	
1501	流産	150,006	0.0%	115	11	0.0%	116	6	0.1%	116	25,001	65
1502	妊娠高血圧症候群	9,688	0.0%	119	4	0.0%	120	3	0.0%	119	3,229	118
1503	単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	5,806,931	0.2%	75	95	0.1%	106	37	0.5%	104	156,944	16
XⅥ. 周産期に発生した病態		4,941,784	0.2%		26	0.0%		10	0.1%		494,178	
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	3,552,605	0.1%	86	18	0.0%	114	7	0.1%	115	507,515	4
1602	その他の周産期に発生した病態	1,389,179	0.1%	100	10	0.0%	117	6	0.1%	116	231,530	11
XⅦ. 先天奇形, 変形及び染色体異常		4,146,016	0.2%		675	0.7%		209	2.9%		19,837	
1701	心臓の先天奇形	691,261	0.0%	108	56	0.1%	109	14	0.2%	110	49,376	37
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	3,454,755	0.1%	88	619	0.6%	80	195	2.7%	75	17,717	75
XⅧ. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		44,627,836	1.7%		9,379	9.4%		2,253	31.5%		19,808	
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	44,627,836	1.7%	13	9,379	9.4%	7	2,253	31.5%	5	19,808	72
XⅨ. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響		75,437,174	2.8%		4,239	4.2%		1,380	19.3%		54,665	
1901	骨折	33,674,570	1.3%	20	1,543	1.5%	55	480	6.7%	48	70,155	27
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	7,065,716	0.3%	69	56	0.1%	109	35	0.5%	105	201,878	12
1903	熱傷及び腐食	1,135,341	0.0%	105	85	0.1%	107	32	0.4%	106	35,479	51
1904	中毒	936,197	0.0%	107	320	0.3%	92	162	2.3%	79	5,779	108
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	32,625,350	1.2%	22	2,746	2.7%	39	1,002	14.0%	25	32,560	53
XⅩⅠ. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用		8,839,998	0.3%		2,181	2.2%		517	7.2%		17,099	
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	159,166	0.0%	114	34	0.0%	112	13	0.2%	111	12,244	91
2102	予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104	歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数(人) ※
	2,660,003,930	100,161	7,150

疾病分類		医療費(円) ※	構成比	順位	レセプト件数 ※	構成比	順位	患者数(人) ※	構成比	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	15,696	0.0%	118	7	0.0%	118	1	0.0%	122	15,696	80
2106	その他の理由による保健サービスの 利用者	8,665,136	0.3%	65	2,141	2.1%	46	506	7.1%	47	17,125	78
X X II. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		63,695	0.0%		33	0.0%		15	0.2%		4,246	
9999	分類外	63,695	0.0%	117	33	0.0%	113	15	0.2%	109	4,246	113

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。
 そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

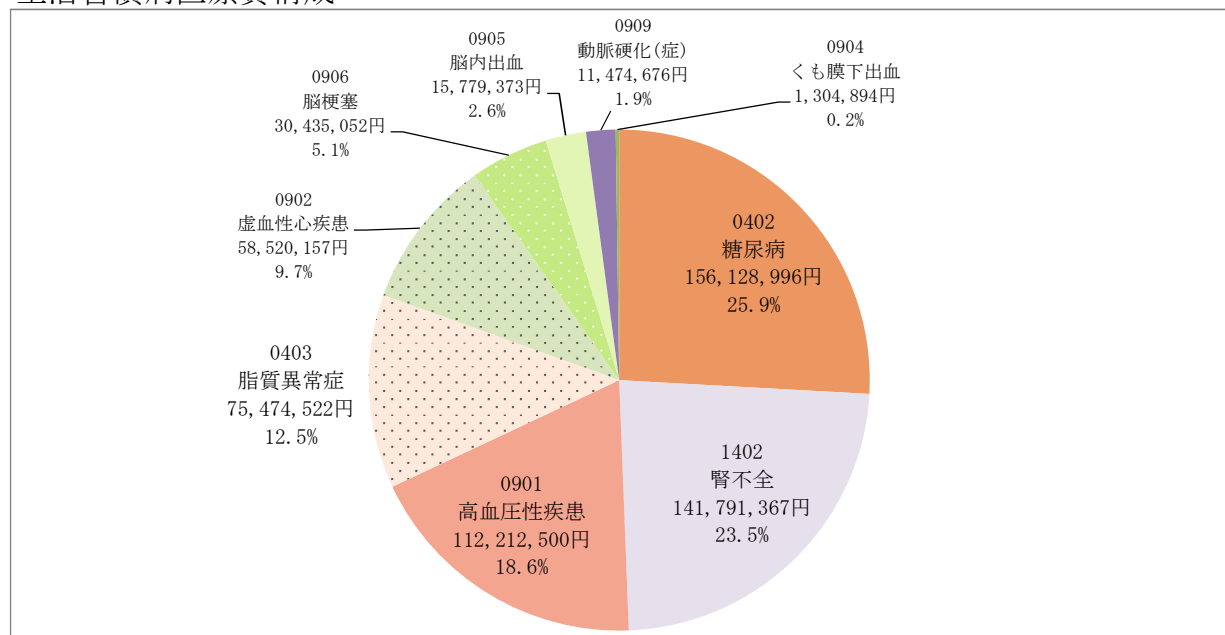
(4) 生活習慣病に係る医療費

平成31年4月から令和2年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、生活習慣病の医療費及び患者数を算出しました。糖尿病医療費は1億5,613万円、脂質異常症医療費は7,547万円、高血圧性疾患医療費は1億1,221万円となります。

生活習慣病医療費

疾病分類(中分類)	医療費(円)	構成比	順位	患者数(人)	有病率 ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0402 糖尿病	156,128,996	25.9%	1	2,569	28.4%	2	60,774	6
1402 腎不全	141,791,367	23.5%	2	214	2.4%	7	662,576	1
0901 高血圧性疾患	112,212,500	18.6%	3	2,927	32.4%	1	38,337	7
0403 脂質異常症	75,474,522	12.5%	4	2,325	25.7%	3	32,462	8
0902 虚血性心疾患	58,520,157	9.7%	5	850	9.4%	4	68,847	5
0906 脳梗塞	30,435,052	5.1%	6	430	4.8%	6	70,779	4
0905 脳内出血	15,779,373	2.6%	7	115	1.3%	8	137,212	3
0909 動脈硬化(症)	11,474,676	1.9%	8	535	5.9%	5	21,448	9
0904 くも膜下出血	1,304,894	0.2%	9	9	0.1%	9	144,988	2
0907 脳動脈硬化(症)	0	0.0%	10	0	0.0%	10	0	10
合計	603,121,537			4,308	47.7%		140,000	

生活習慣病医療費構成



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第3版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

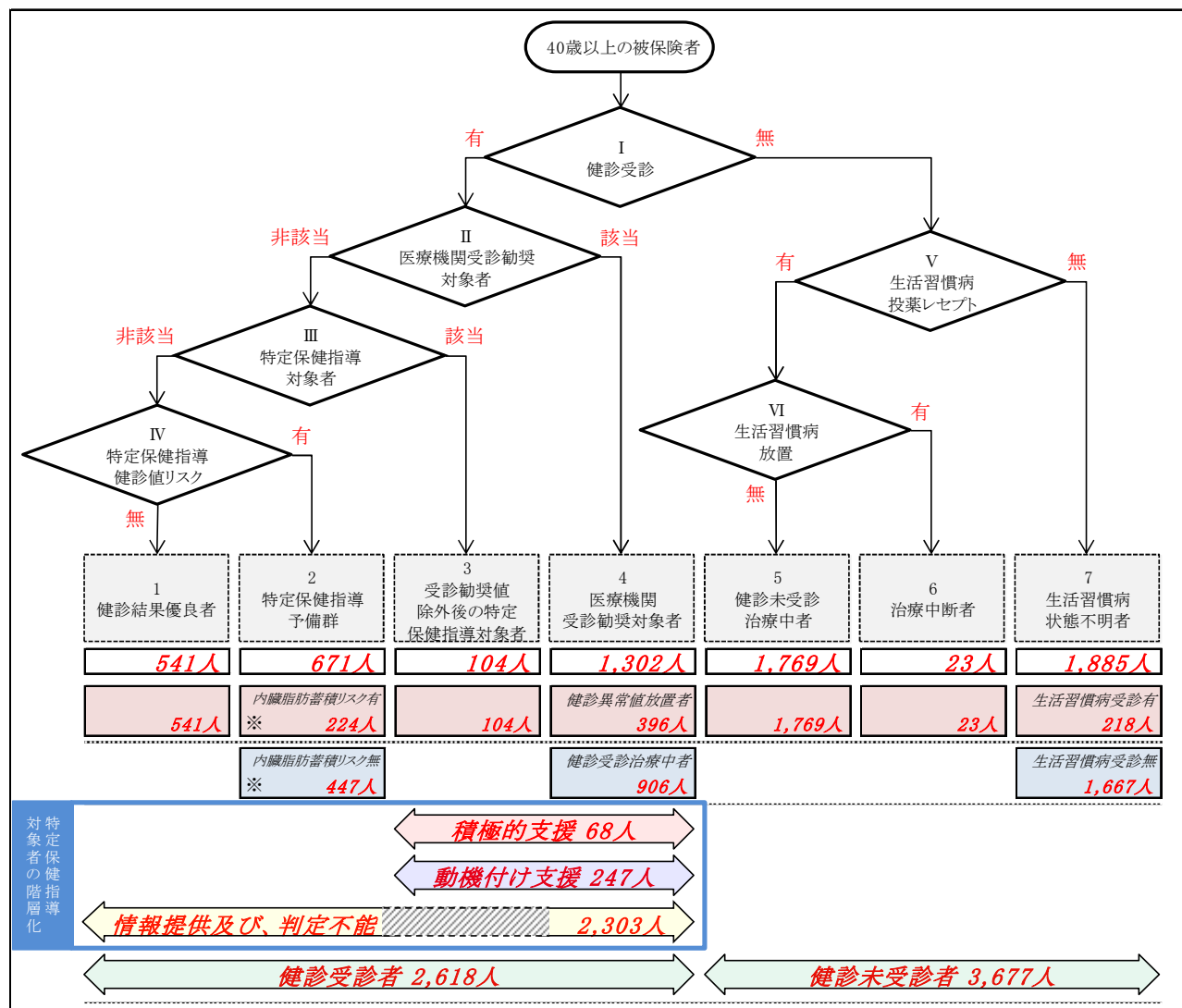
4. 保健事業実施に係る分析結果

(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせて分析し、40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類します。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループです。

特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「1.「指導対象者群分析」のグループ分けの見方」を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定健康診査に係る分析

以下は、特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を示したものです。

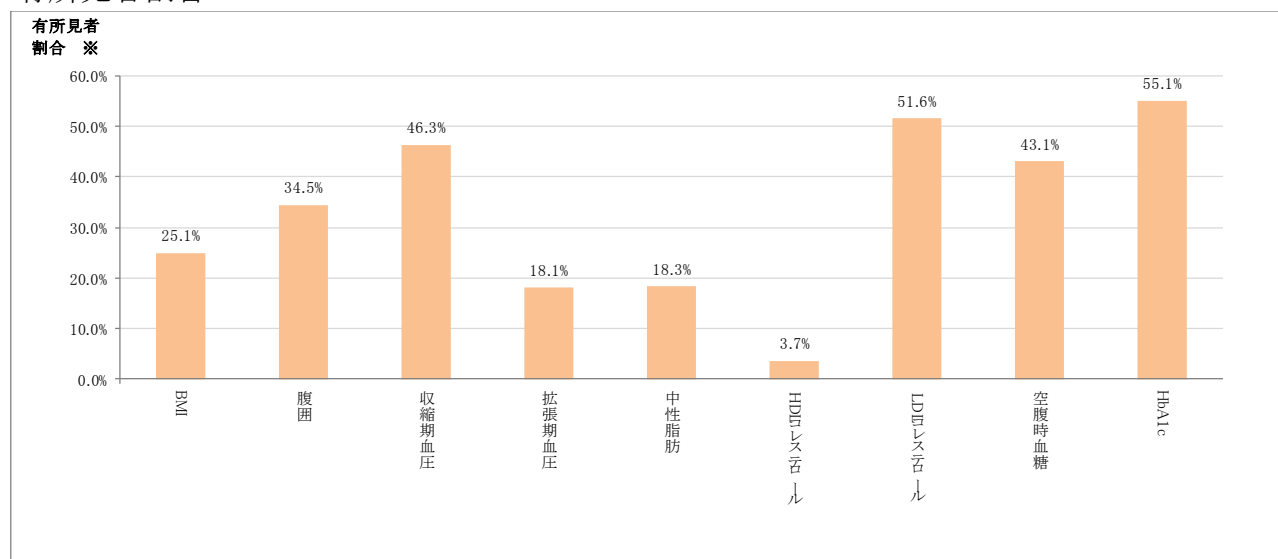
有所見者割合が高い検査値上位3位は、「HbA1c」55.1%、「LDLコレステロール」51.6%、「収縮期血圧」46.3%です。また、選択者割合が高い質問の上位3位は運動習慣「1回30分以上の運動習慣なし」55.7%、「1日1時間以上の身体活動なし」42.5%、飲酒習慣「毎日飲酒する」21.3% となっています。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	2,618	2,618	2,618	2,618
有所見者数(人) ※	656	902	1,213	474
有所見者割合 ※	25.1%	34.5%	46.3%	18.1%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	2,618	2,618	2,618	2,447	2,618
有所見者数(人) ※	479	96	1,351	1,054	1,442
有所見者割合 ※	18.3%	3.7%	51.6%	43.1%	55.1%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

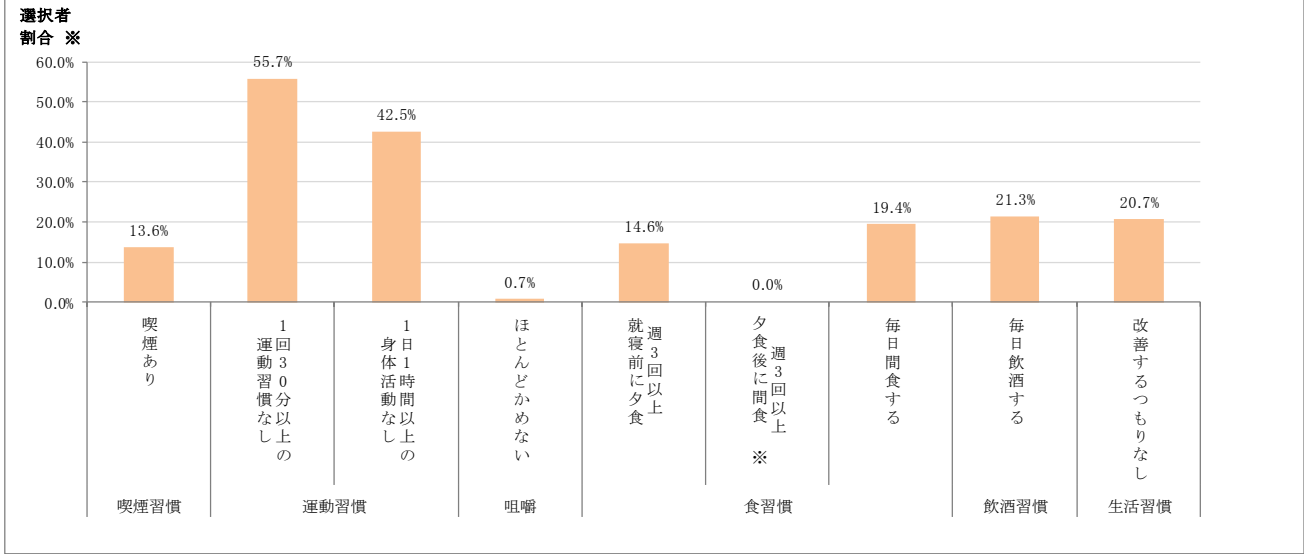
BMI:25以上、 腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、 収縮期血圧:130mmHg以上、 拡張期血圧:85mmHg以上、
 中性脂肪:150mg/dl以上、 HDLコレステロール:39mg/dl以下、 LDLコレステロール:120mg/dl以上、
 空腹時血糖値:100mg/dl以上、 HbA1c:5.6%以上

質問別回答状況

	喫煙習慣	運動習慣		咀嚼
質問の選択肢	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし	ほとんどかめない
質問回答者数(人) ※	2,618	2,618	2,615	2,614
選択者数(人) ※	355	1,459	1,112	17
選択者割合 ※	13.6%	55.7%	42.5%	0.7%

	食習慣			飲酒習慣	生活習慣
質問の選択肢	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食 ※	毎日間食する	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	2,615	0	2,612	2,618	2,598
選択者数(人) ※	381	0	507	557	538
選択者割合 ※	14.6%	0.0%	19.4%	21.3%	20.7%

質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

質問回答内容

喫煙あり

…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

1回30分以上の運動習慣なし

…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

1日1時間以上の身体活動なし

…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

ほとんどかめない

…「食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。」の質問に対し、「ほとんどかめない」の回答数を集計。

週3回以上就寝前に夕食

…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

週3回以上夕食後に間食

…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。 ※平成30年度以降で廃止された質問項目。

毎日間食する

…「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

毎日飲酒する

…「お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。

改善するつもりなし

…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

(3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されています。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・改善に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けています。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は315人です。このうち、積極的支援の対象者は68人、動機付け支援の対象者は247人です。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			315人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	6人	68人 22%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	11人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	2人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	6人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	5人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	11人	
	●		●			血糖＋脂質	3人	
		●	●			血圧＋脂質	3人	
	●			●		血糖＋喫煙	7人	
		●		●		血圧＋喫煙	5人	
			●	●	因子数1	脂質＋喫煙	8人	
	●					血糖	0人	
		●				血圧	0人	
			●			脂質	1人	
				●		喫煙	0人	
					因子数0	なし	0人	
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖＋血圧＋脂質＋喫煙	4人	247人 78%
	●	●	●		因子数3	血糖＋血圧＋脂質	21人	
	●	●		●		血糖＋血圧＋喫煙	2人	
	●		●	●		血糖＋脂質＋喫煙	2人	
		●	●	●		血圧＋脂質＋喫煙	3人	
	●	●			因子数2	血糖＋血圧	48人	
	●		●			血糖＋脂質	11人	
		●	●			血圧＋脂質	14人	
	●			●		血糖＋喫煙	5人	
		●		●		血圧＋喫煙	5人	
			●	●	因子数1	脂質＋喫煙	5人	
	●					血糖	39人	
		●				血圧	65人	
			●			脂質	22人	
				●		喫煙	0人	
					因子数0	なし	1人	

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。

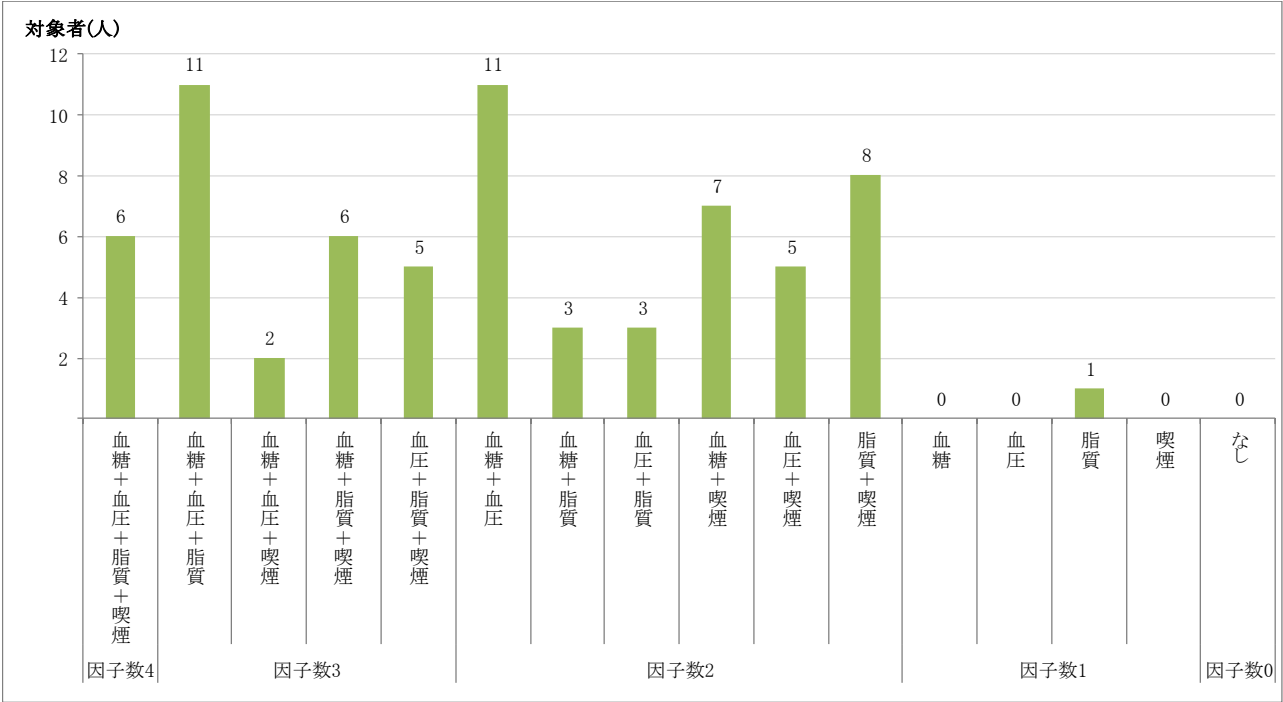
資格確認日…令和2年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。また、医師の判断等により、リスク因子数が0であっても特定保健指導対象者に分類される場合がある。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

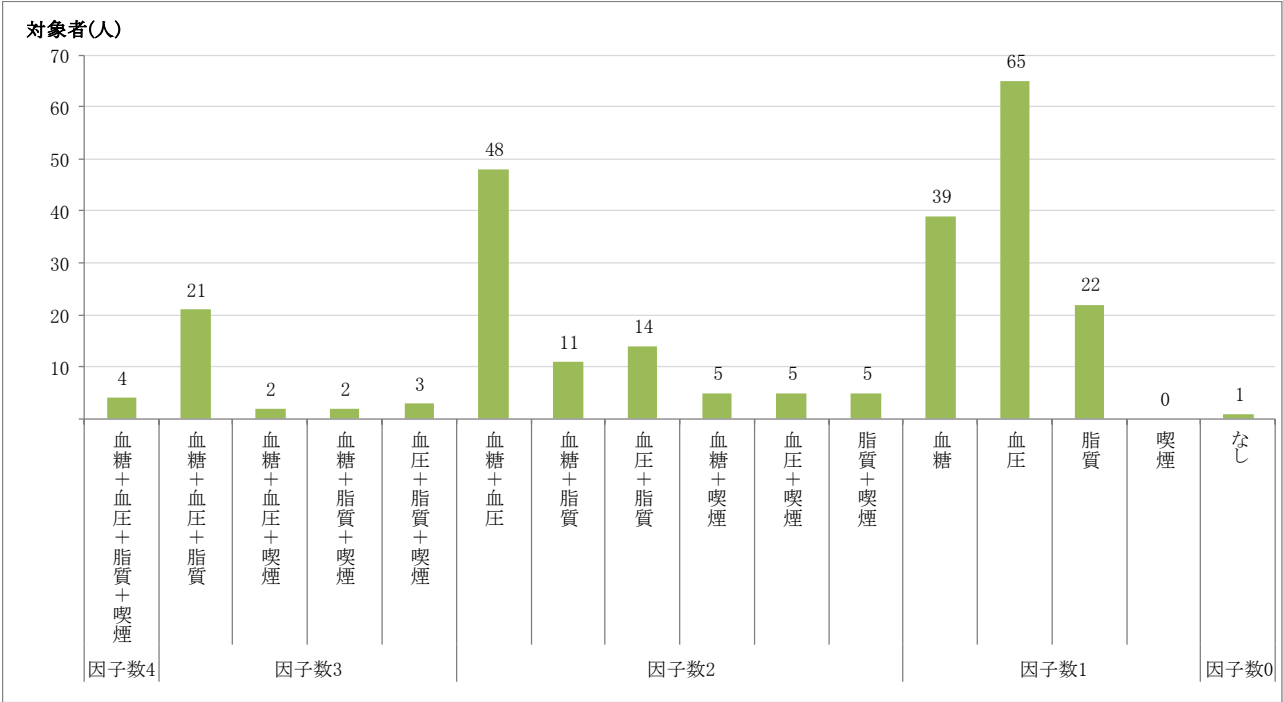
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和2年3月31日時点。

(4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めています。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない人が存在します。これらの対象者をレセプトにより見極めます。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する396人が健診異常値放置受診勧奨対象者となります。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためです。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外します。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 … 健診受診後、医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数(合計)	396 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成31年4月～令和2年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは困難なため、重症化しないことが重要となります。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められます。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがあります。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性があります。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者30人が対象となります。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられます。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外します。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定

・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病1、高血圧症、脂質異常値)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者

		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	23 人
	上記以外のグループ	7 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		30 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

上記以外のグループ…治療中断者は健康診査受診の有無にかかわらず発生する。「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」では、最初の分岐で健康診査の受診の有無を見ているため、「6 治療中断者」には健康診査未受診者のみ格納される。事業を実施するためには健康診査受診者の治療中断者も併せて事業を実施する必要があるため、ここで健康診査受診者における治療中断者の人数を特定している。

(6) 糖尿病重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、64.5%が生活習慣を起因とするものであり、その58.1%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かりました。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

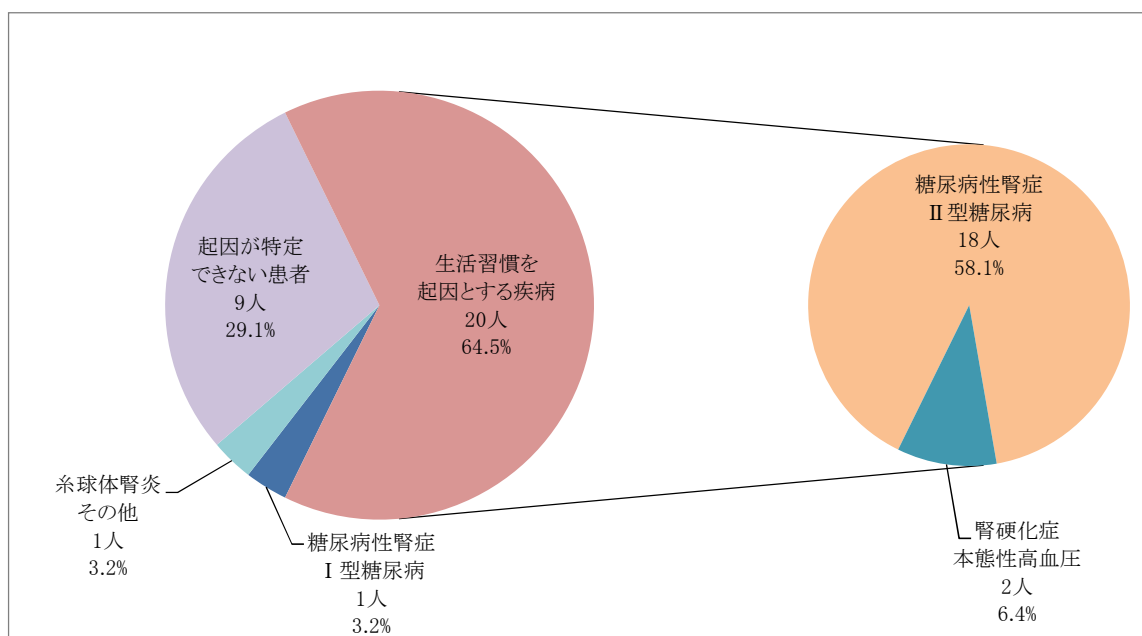
透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	30
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	1
透析患者合計	31

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

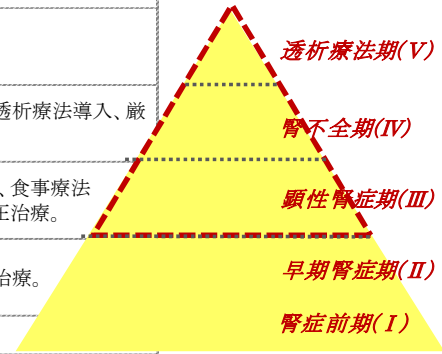
「腎症の起因分析」「II型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定します。その結果、腎症患者446人中132人の適切な指導対象者を特定しました。

次ページの図は、腎症患者の全体像を示したものです。

腎症患者の全体像

腎症患者の全体像

病期	臨床的特徴	治療内容
V 透析療法期	透析療法中。	透析療法、腎移植。
IV 腎不全期	蛋白尿。血清Crが上昇し、腎機能は著明低下する。尿毒症等の自覚症状あり。	食事療法(低蛋白食)、透析療法導入、厳格な降圧治療。
III 顕性腎症期	蛋白尿。腎機能は高度に低下。尿毒症等の自覚症状あり。	厳格な血糖コントロール、食事療法(低蛋白食)、厳格な降圧治療。
II 早期腎症期	微量アルブミン尿、血清Crが正常、時に高値。 ※尿蛋白、血清Cr共に正常だが糖尿病と診断されて10年以上の場合を含む。	血糖コントロール、降圧治療。
I 腎症前期	尿蛋白は正常。血清Crが正常、時に高値。	血糖コントロール。



Ⅲ期以降腎症患者

合計 446人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

(7) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要です。以下は、指導対象者数の分析結果を示したものです。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成31年4月から令和2年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析しました。

重複受診者数

	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月
重複受診者数(人) ※	1	1	2	0	5	4	5	3	2	5	4	4
											12カ月間の延べ人数	
											36人	
											12カ月間の実人数	
											31人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※重複受診者数…1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

頻回受診者数

	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月
頻回受診者数(人) ※	34	38	38	43	33	39	38	40	43	34	32	32
											12カ月間の延べ人数	
											444人	
											12カ月間の実人数	
											127人	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間で12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

重複服薬者数

	平成31年4月	令和1年5月	令和1年6月	令和1年7月	令和1年8月	令和1年9月	令和1年10月	令和1年11月	令和1年12月	令和2年1月	令和2年2月	令和2年3月
重複服薬者数(人) ※	5	18	24	26	18	23	20	22	25	25	28	16
											12カ月間の延べ人数	
											250人	
											12カ月間の実人数	
											122人	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和2年3月31日時点。

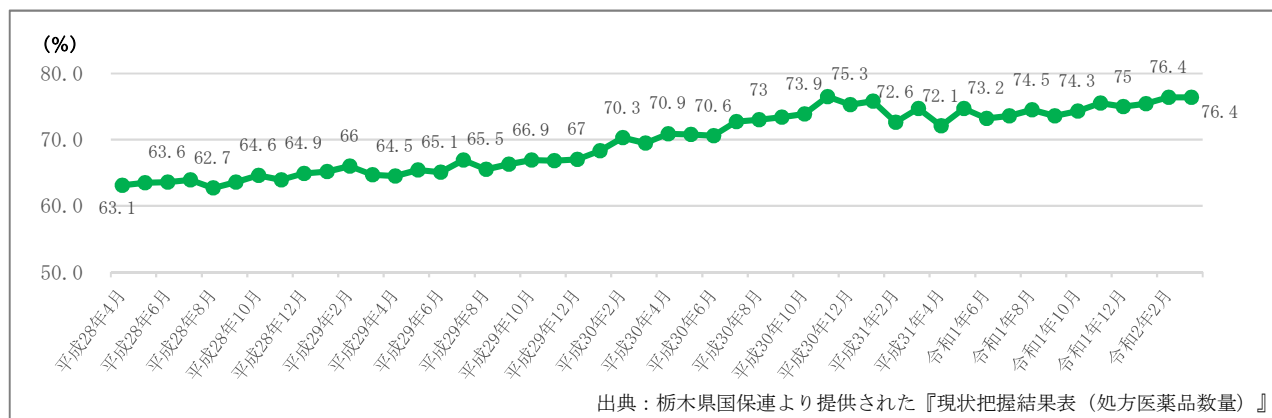
※重複服薬者数…1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

(8) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し普及の促進を図ります。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点があります。

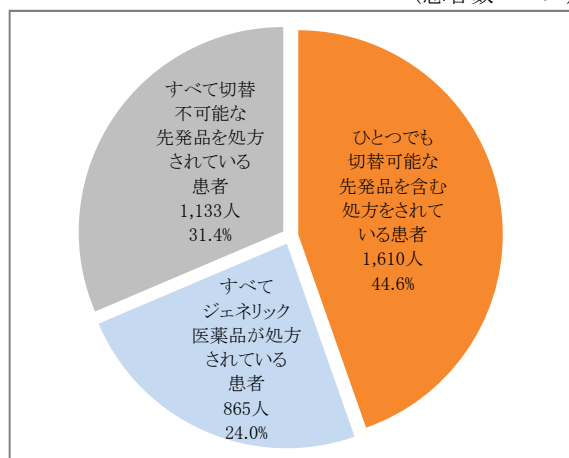
以下は、平成28年から令和2年のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)を示したものです。

ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)

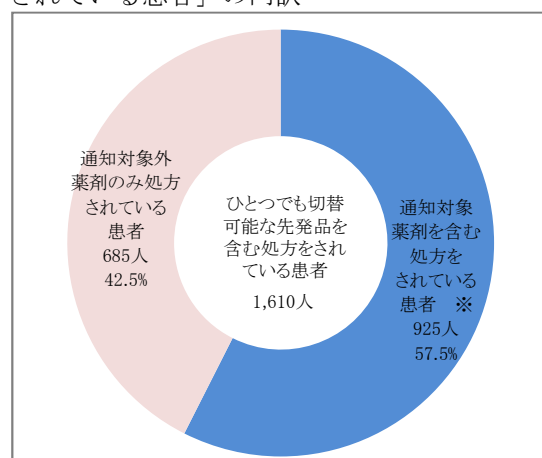


次に、令和2年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示します。患者数は3,608人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は1,610人で患者数全体の44.6%を占めています。さらにこのうちデータ分析会社基準の通知対象薬剤のみに絞りと、925人がジェネリック医薬品に切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、ひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者の57.5%を占めています。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル
(患者数ベース)



「ひとつでも切替可能な先発品を含む処方をされている患者」の内訳



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。対象診療年月は令和2年3月診療分(1カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…データ分析会社通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方ものは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

5. 分析結果のまとめ

(1) 分析結果

以下は、平成31年4月から令和2年3月診療分(12カ月分)における分析結果を示したものです。

【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費	構成比
1位	新生物＜腫瘍＞	435,755,405円	16.4%
2位	循環器系の疾患	377,386,460円	14.2%
3位	内分泌，栄養及び代謝疾患	276,484,331円	10.4%

患者数が多い疾病		患者数
1位	内分泌，栄養及び代謝疾患	3,879人
2位	循環器系の疾患	3,795人
3位	消化器系の疾患	3,679人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	周産期に発生した病態	494,178円
2位	精神及び行動の障害	273,637円
3位	新生物＜腫瘍＞	190,369円

【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費	構成比
1位	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	171,204,415円	6.4%
2位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	162,133,935円	6.1%
3位	糖尿病	156,128,996円	5.9%

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	2,927人
2位	糖尿病	2,569人
3位	その他の消化器系の疾患	2,424人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	白血病	1,762,908円
2位	腎不全	662,576円
3位	血管性及び詳細不明の認知症	600,733円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数		863件
高額レセプト件数割合		0.9%
高額レセプト医療費割合		32.2%
高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	白血病	10,032,350円
2位	その他の循環器系の疾患	7,585,140円
3位	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	5,748,709円

【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	396人
----------	------

【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	30人
------------	-----

【人工透析患者の状況】

人工透析患者	31人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	18人

【医療機関受診状況】

重複受診者	31人
頻回受診者	127人
重複服薬者	122人

※平成31年4月～令和2年3月診療分(12カ月分)期間中の実人数

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

ジェネリック医薬品普及率	76.4%
--------------	-------

- ・メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合が増加しています。
- ・生活習慣病の医療費は平成28年度よりも高額になっており、患者数も多いです。
- ・疾病中分類別でみると高血圧性疾患の患者数は全疾病中で最も多く、対策が必要です。
- ・疾病中分類別でみると、患者数が2番目に多い糖尿病の一人当たり医療費は、患者数が最も多い高血圧性疾患と比較すると1.6倍も高くなっています。
- ・腎不全は患者一人当たりの医療費が高額になっており、患者数は多くありませんが、全体として高額な医療費となっています。
- ・介護認定を受けた方の約6割に高血圧症、約3割に脂質異常症や糖尿病といった生活習慣病があります。

(2) 分析結果に基づく健康課題

分析結果やデータヘルス計画の取組状況をまとめた結果を踏まえて、保健事業で取り組むべき健康課題は次の6つとなります。

1. 特定健診受診率を向上させる。
2. 特定保健指導実施率を向上させる。
3. 糖尿病重症化予防事業を継続し実施する。
4. 健診受診者で再検査が必要となった方(要精検者)の精密検査受診率を向上させる。
5. 重複・頻回受診者、重複服薬者を減少させる。
6. ジェネリック医薬品普及率を向上させる。

第3章 目標及び保健事業の実施計画

1. 目的・目標

国民健康保険被保険者の「健康増進（健康寿命の延伸）」及び「医療費の適正化」のために、「1. 生活習慣・健康状態の把握」「2. 生活習慣の改善」「3. 医療機関への早期受診・適正受診」を実現します。

**健康増進
(健康寿命の延伸)**

医療費の適正化



1. 生活習慣病の早期発見

特定健診や各種検診により、生活習慣や健康状態を把握し、生活習慣の改善が必要な対象者や医療機関への通院が必要な対象者に、適切に情報提供を行います。

2. 生活習慣病の重症化予防

生活習慣を改善し、健診結果の改善や生活習慣病の発症予防、重症化予防、医療費適正化を目指します。

3. 医療機関への早期受診・適正受診

医療機関への早期受診・適正受診により、疾病の重症化の予防及び医療費適正化を目指します。

2. 各事業の目的と概要一覧

設定した目標達成のために実施する保健事業の一覧です。

事業目的	事業名	事業概要	対象者	対策
生活習慣病の早期発見	特定健康診査受診率向上事業	生活習慣病の早期発見や重症化予防のため、特定健康診査未受診者に対し、受診勧奨を行います。	40歳～74歳の国民健康保険被保険者のうち特定健康診査未受診者	対象者に通知や電話等で受診を促します。
	特定保健指導事業	特定健診受診者から対象者を階層化し、生活習慣病の発症予防や重症化予防のため、専門職が健康づくりを支援します。	特定保健指導対象者	対象者に面接、電話、Eメール等で健康状態の確認や指導を行い、6か月後に実績評価を行います。また、対象者の日時等の利便性を考え、委託業者による指導も実施します。
生活習慣病の重症化予防	糖尿病重症化予防事業	前年度の特定健康診査の結果と実施年度のレセプトデータから対象者を階層化し、重症化を予防するため、適切な情報提供、医療機関と連携した受診勧奨や専門職による保健指導等を行います。	空腹時血糖126mg/dl以上またはHbA1c6.5%以上の者等、実施要領に定める者	対象者に応じて、通知や電話、訪問等による情報提供と受診勧奨、保健指導を実施します。受診勧奨後は2～3か月後にレセプトデータを確認し、受診歴がない場合は再度受診を促します。保健指導は6か月後に実績評価を行います。また、対象者の日時等の利便性を考え、委託業者による指導も実施します。
	生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	生活習慣病治療を中断したことによる重症化予防のため、医療機関受診勧奨を行います。	生活習慣病治療中断者	対象者をレセプトデータから特定し、通知等で医療機関への受診を促します。
	要精検者受診勧奨事業	必要な医療機関受診を放置することによる、生活習慣病の発症や重症化を予防します。	医療機関受診勧奨値レベルで医療機関未受診の者	対象者に通知等で医療機関への受診を促します。
医療機関への早期受診・適正化	受診行動適正化指導事業（重複・頻回受診、重複服薬）	受診習慣や生活習慣の改善を促し、健康保持増進及び医療費の適正化を図ります。	重複・頻回受診者、重複服薬者の中で指導が必要と認められる者	訪問等により、健康状態や生活状況を把握するとともに、健康相談やかかりつけ医の推奨による適正受診指導等を行います。指導後、数か月後にレセプトデータにて受診歴を確認し実績評価を行います。
ジェネリック医薬品の普及率向上	ジェネリック医薬品普及事業	ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者に、差額通知を送付し、普及を促します。	国民健康保険被保険者	ジェネリック医薬品差額通知を送付することで、制度や医療費適正化についての周知、啓発を行い、ジェネリック医薬品の普及促進により、医療費の適正化を図ります。

	目標値				評価指標			
	初期値	計画開始	令和2年度 ～4年度	最終年度	ストラク チャー	プロセス	アウト プット	アウトカム
	平成28年度	平成30年度		令和5年度				
中 長 期 目 標	34.9%	42.6%	増加傾向へ	60%	予算・人員の確保	未受診者の状況の把握	受診勧奨数・率	特定健診受診率
	40.8%	40.1%	増加傾向へ	60%	保健師・管理栄養士の確保	生活習慣病医療費推移の把握	保健指導継続率	保健指導実施率
	－	33%	増加傾向へ	50%	予算、保健師・管理栄養士の確保	対象者の把握	保健指導対象者の事業参加率 受診勧奨対象者への勧奨率	保健指導参加者の検査結果改善率 未治療者の医療機関受診率
	－	－	増加傾向へ	30%	予算・人員の確保	対象者の把握	受診勧奨数・率	対象者の医療機関受診率
	47.1%	48.8%	増加傾向へ	50%	予算・人員の確保	対象者の把握	受診勧奨数・率	要精検者の医療機関受診率
短 期 目 標	－	15.4%	増加傾向へ	50%	予算・人員の確保	対象者の把握	指導実施率	対象者の受診行動改善率
	64.7%	74.7%	増加傾向へ	80%	予算・人員の確保	差額通知による切替状況の把握	差額通知送付数	ジェネリック医薬品の普及率

第4章 計画の運用について

1. 実施体制・関係者連携

本計画の実施にあたっては、国保部門(健康増進課 国保医療担当)のほか、専門職である保健師・管理栄養士が配置されている保健衛生部門(健康増進課 健康増進担当)と共同で行います。

また、本市は「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施」を行っており、高齢者・介護部門(高齢対策課)とも連携を強化しています。地域包括ケア会議にも参画し、情報提供、情報共有や意見交換等を行い、連携を図りながら地域課題の検討を行っています。

計画策定、評価、見直しを行う際は、矢板市国民健康保険運営協議会や栃木県の関係部局等に意見を求め、連携・協力を図ることとします。

2. 評価の時期

目標値の達成状況について毎年度進捗管理、評価を行います。計画の終了年度である令和5年度上半期には、次期計画策定を円滑に行うため仮評価を行います。

個別保健事業の評価については、毎年度実施します。

3. 計画の公表

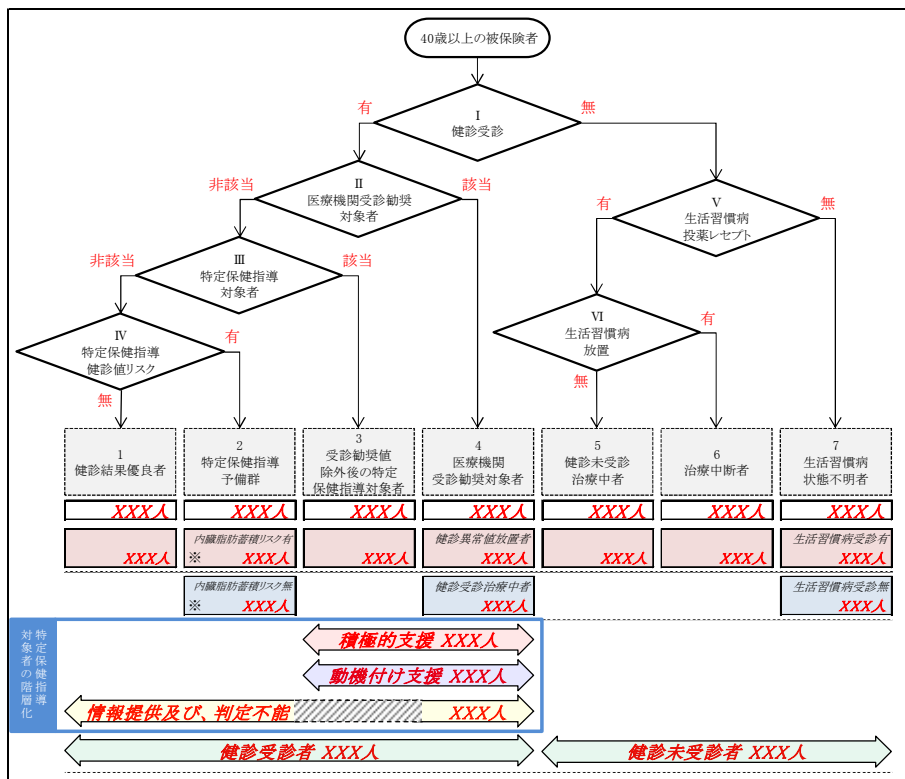
策定したデータヘルス計画は市ホームページ等で掲載し、周知を図ります。

4. 個人情報の保護

個人情報の取扱いは、「個人情報の保護に関する法律」及び「矢板市個人情報保護条例」に基づき適正に管理します。

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

特定健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 … 健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 … 健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 … 厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【平成30年度版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク … 厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト … 生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 … 生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
 - 1. 健診結果優良者 … 保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 … 保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク有 … 「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 内臓脂肪蓄積リスク無 … 「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 … 受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者
 - 健診異常値放置者 … 受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
 - 健診受診治療中者 … 「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
 - … 「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため医療機関受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
 - 5. 健診未受診治療中者 … 生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 … 過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病状態不明者 … 生活習慣病の投薬治療をしていない者。
 - 生活習慣病受診有 … 「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
 - 生活習慣病受診無 … 「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 用語解説集

	用語	説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

3. 疾病分類表 (2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
Ⅰ．感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	R Sウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
Ⅱ．新生物＜腫瘍＞				
0201	胃の悪性新生物＜腫瘍＞	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物＜腫瘍＞	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物＜腫瘍＞	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物＜腫瘍＞	前立腺癌	膵癌	膀胱癌
0211	良性新生物＜腫瘍＞及びその他の新生物＜腫瘍＞	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
Ⅲ．血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
Ⅳ．内分泌，栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌，栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
Ⅴ．精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害，ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害＜精神遅滞＞	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
Ⅵ. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Y a h r 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
Ⅶ. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
Ⅷ. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
Ⅸ. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
Ⅹ. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎〔かぜ〕＜感冒＞	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I . 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿疱疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV . 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V．妊娠，分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠，分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI．周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O 因子不適合
X VII．先天奇形，変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形，変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII．症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX．損傷，中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I．健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II．特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		

矢板市国民健康保険データヘルス計画（第2期）中間評価

□発 行 令和3年3月

□発行者 矢板市健康福祉部健康増進課

〒329-2192 栃木県矢板市本町5番4号

TEL 0287-43-1118

ホームページ

<http://www.city.yaita.tochigi.jp/>
